

高校生のための
卒業論文ガイド

ver. 12.0



中央大学杉並高等学校
国語科

目次

目次	2
はじめに	4
第1章 論文を書くまえに.....	5
(1) 卒業論文 執筆要項.....	5
(2) 章構成と探究マップの対応	6
第2章 文体・引用・出典注記	8
(1) 論文で使う文の形	8
(2) 引用の仕方～基本編～	9
(3) 引用の仕方～引用元を加工する～.....	11
(4) 作品分析の場合の本文の引用の仕方・出典の示し方.....	12
(5) 書誌情報や図表の書き方 (APA 方式)	13
第3章 「問い」を立てる.....	14
(1) 春休みの課題	14
(2) 書き出すまでの3ステップ	16
(3) 分析対象と分析装置.....	17
(4) 資料・先行研究の収集	18
(5) 有効な「問い」の見つけ方	23
(6) 分析装置の探し方～大学のシラバスを検索する～	26
(7) 「具体的事例」の深め方.....	27
(8) 付箋の更新.....	28
(9) 優秀論文に見られる論理構成の特徴	29
(10) ライティング・ラボ	30
(11) プレゼンテーションの仕方.....	32

(1 2) 論文評価の観点①	34
第4章 論文を仕上げる	35
(1) 夏休みの課題	35
(2) 卒業生の論文見本【課題解決型】 Word	36
(3) 卒業生の論文見本【作品分析型】 Google ドキュメント	46
(4) 紙媒体で発表された論文を web 上で閲覧した場合の出典表記の仕方	52
(5) 図表の書き方	53
(6) 剽窃・孫引きの禁止	54
(7) 最終稿の提出について	55
(8) 提出前のチェック項目	56
(9) 論文評価の観点②	57
第5章 研究の成果を残す	58
(1) 『卒業論文要旨集成』原稿作成要項	58
(2) 要旨集成 原稿見本	59
F A Q 卒論あるある	60
おわりに	64
索引	65

はじめに

「論文」と聞くと、非常に難しくて高尚なイメージがあるかもしれませんが、論文は英語で言えば単に“paper”です。つまり「論文」とは、「問い」と「答え（＝主張）」と「根拠」が備わった「論理的な文章」のことであり、それ以上でもそれ以下でもありません。

ゆえに、本校の論文執筆では、大学の研究者が書くような学術論文の水準を目指しているわけではなく、あるテーマについて問題を見つけ、資料を踏まえながら自ら立てた「問い」に必ず「根拠」を添えて「答え」ていくという一連の行為の実践を目指しています。

さて、これまでの数多くの中杉生が卒業論文執筆に挑み、この課題を乗り越えてきました。その貴重な経験から、みなさんの論文執筆に立ちほだかる大きな壁は次の3点に集約されることがわかりました。

- (1) 具体的な「問い」を立てること
- (2) 論証を何度も「組み直す」こと
- (3) 文章を何度も「書き直す」こと

まず、みなさんにとって難しいのはテーマを選ぶこと自体ではありません。自分が見つけたテーマに対して、どのような「問い」を立てればよいのかが難しいのです。「問い」を立てるためには、自分が書こうとする分量で論じ尽くすことができるような範囲に対象を限定し、その上で「問い」として有効なものを立ち上げなければなりません。「問い」は、できる限り具体的なものまでとことん絞り込む必要があります。

次に、たとえ優れた「問い」が見つかったとしても、手に入る資料の有無、自分の考え自体の変化によって、論証の全体像はどんどん変わっていきます。資料を熟読し、自分の考えを振り返り、矛盾が生じるようであれば当初の論理構成を修正する必要があります。論文は「書く」ものである以前に「組み立てる」ものですから、方向性を見失ったら必ず「探究マップ」に戻り、新たな「問い」へと更新しながら進めていきましょう。

さらに、論理構成が変わったら必ず全文に目を通し、再度筋道が通るかどうか確認して文章を書き直します。友人や家族など、自分以外の人に読んでもらうのもよいでしょう。自分にわかっていないことは、他人に理解できるわけがありません。論文執筆は書く自分と読む自分との間で行われる自己対話ですから、労をいとわず何度も書き直しましょう。

トライ＆エラーの数が多ければ多いほど、良い論文に育ちます。新たな資料、新たな考えに挑戦し、できるだけ多く失敗して下さい。無駄なことは何一つありません。失敗の数が、論文を育てます。情報は、自分自身の手と目と耳と足で集めて下さい。才能（センス）は要りません。最後まで諦めない粘り強さだけが必要です。

それではこのガイドとともに、記念すべき人生1本目の論文を書いてみましょう。

中央大学杉並高等学校 国語科

第1章 論文を書くまえに

(1) 卒業論文 執筆要項

【テーマ】 基本的に自由

ただし、①先行研究のあるもの

②分析装置（分析の観点）のあるもの

（例）野矢茂樹「現実・相貌・物語」

國分功一郎「消費と浪費の違い」

③客観的データを自分で入手できるもの 限定する。

【目的】

① 高校生として学んだことの集大成とし、みずからの研究成果を文章化する。

② 大学で学ぶための、情報収集・情報整理など情報の適切な処理の仕方について学ぶ。

【条件】

(内容面)

① 本文のみ（＝注や参考文献等を除く）で、6,000字以上。

② 必ず、注（補足説明注・引用注）、参考文献リストを添付すること。¹

(体裁面)

①ページ設定 A4 横書き（1ページにつき、40字×40行、フォントサイズ 10.5p）
文字数を数え「例：原稿用紙 15.4 枚に相当」等最後に明記すること。

②表紙 ア、タイトル（主題・副題ともに）

イ、提出年月日

ウ、学年 組 番号 氏名

③本文構成 本文は章立てし、それぞれに題をつけること。

例) I はじめに（アブストラクト）

II 孤独死の現状

III 岐阜県・大洞団地の取り組み

(1) 大洞団地での孤独死の件数

(2) 岐阜市の取り組み

⋮

V まとめ

【スケジュール】

初稿提出 9月初旬 2学期最初の授業時

口頭発表 9月中旬～ 授業時

最終稿提出 11月第3週のPC教室授業時

要旨提出 11月下旬～ 2学期最後のPC教室授業時

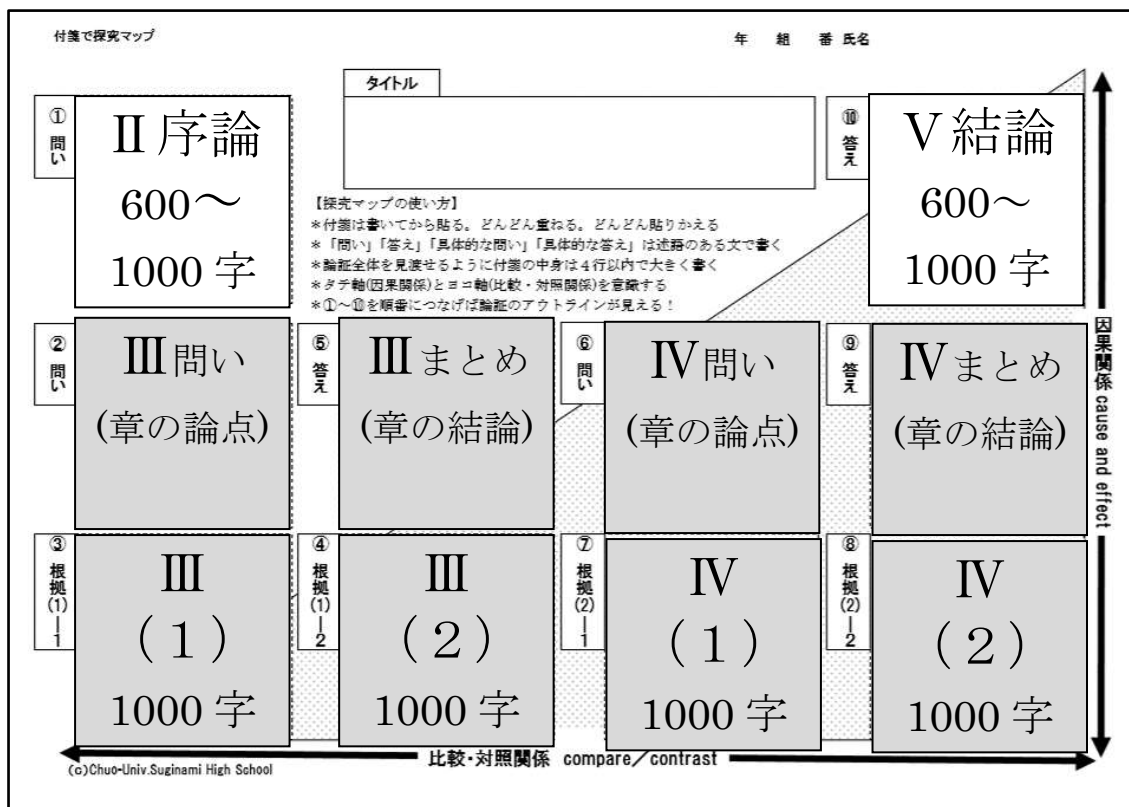
¹ 引用文献、参考文献の書き方はAPA（American Psychological Association）方式に準拠する。

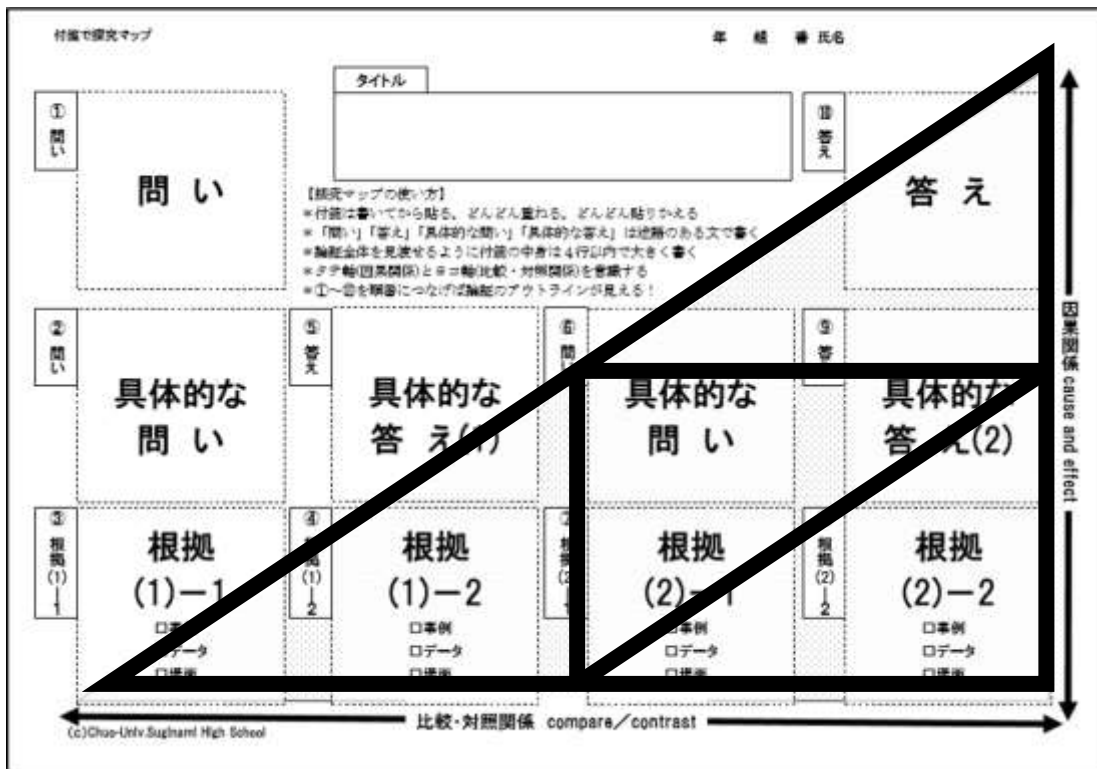
(2) 章構成と探究マップの対応

論文は、物語のような「起・承・転・結」ではなく、「序・本・結」(序論・本論・結論)で書かれます。そこで、本校3年生の書く論文は原則として、次のような構成になっています。

- I はじめに (アブストラクト=要旨)
 - II 論題と観点の提示 (序論)
 - III 「根拠(1)」を踏まえた考察 (本論①)
 - IV 「根拠(2)」を踏まえた考察 (本論②)
 - V まとめ (結論)
- 【参考文献及び関連URL】

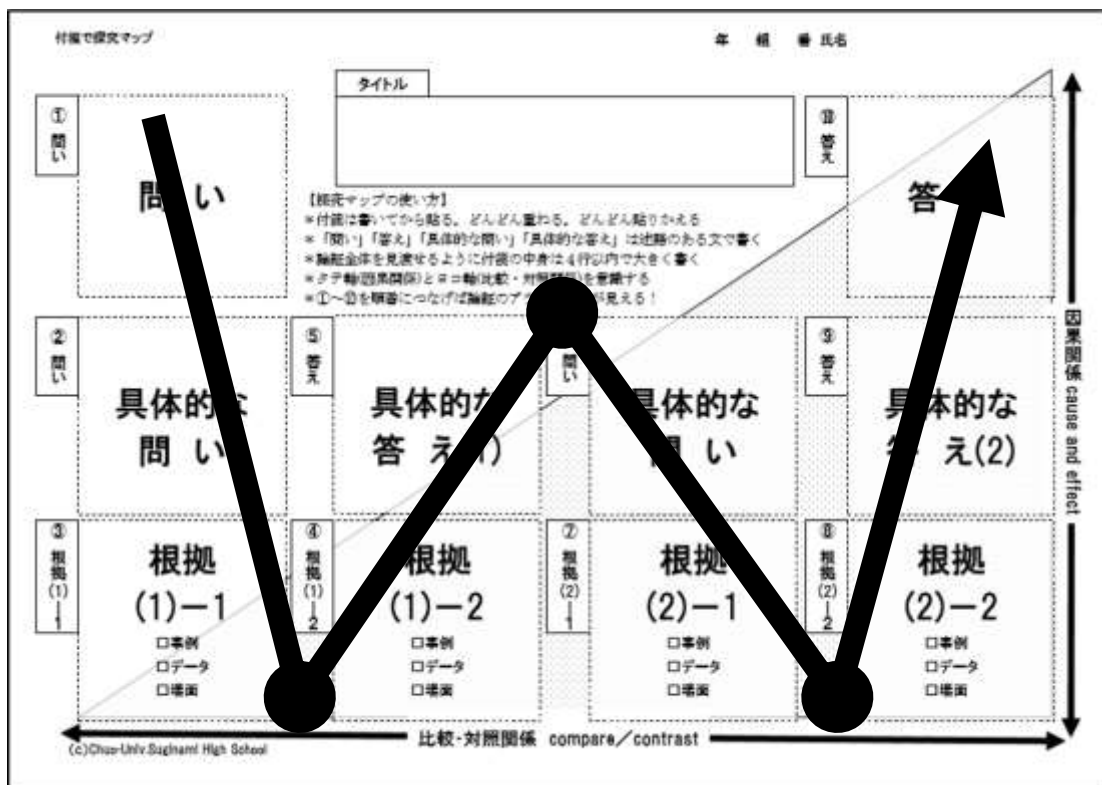
上記の章構成は、「探究マップ」と対応しています(下図)。論文の「I はじめに」は「アブストラクト (ab-stract)」と呼ばれ、論証の全体像を示すところなので、探究マップ上のすべての付箋の内容を簡略化して書けばOK。なお、論証は入れ子構造のピラミッド型をしています(次ページ上図)。小さな三角形が大きな三角形を支えていることに注意しましょう。さらに、組み上げたピラミッドを「W」のようにたどっていくと、それがあなたの書く論文のアウトラインになります(次ページ下図)。





上図：論証は入れ子構造。大小のピラミッドでできている

下図：番号どおりに付箋をたどれば、アウトラインの完成



第2章 文体・引用・出典注記

(1) 論文で使う文の形

論文の文章は、「です・ます」(敬体)を使わずに書きます。また、新聞の文とも異なるので、倒置文や省略文、名詞止め(体言止め)の文なども使われません。

①名詞文

ふだん使われる文の形	論文で使われる文の形
a. 結果を示したのが表1です。	結果を示したのが表1 である 。
b. 税金の引き上げ率は2.7%。	税金の引き上げ率は2.7% である 。

新聞では「～だ」で終わる普通体が見られますが、論文では使いません。またbのような「である」を省略した形(名詞止め)も避けます。

②受身文・自発文

a. この問題をよく新聞が取り上げている。	この問題がよく新聞で 取り上げられている 。
b. (みんなは) ～とよく言っている。	～とよく 言われている 。
c. 私は～と考えます。	(筆者でなくとも) ～と 考えられる 。

一般に言われている意見・考えなどは、a bのような受身文で書きます。また、自分の意見を書くときも、cのように受身文(自発文)を使い、「論を進めれば自然と～という意見になる」、「～という意見になるのは当然だ」ということを表します。

③敬語

a. 山田陽介先生は～とおっしゃっている。	山田陽介は～と 述べている 。
b. 私は～で調査させていただいた。	(筆者は) ～で調査を 行った 。

原則として論文では敬語を使いません。ただし、謝辞を述べるなど特別な場合には、例外的に敬語や「です・ます」を使うことがあります。

【例】本稿をまとめるにあたり、鈴木一郎先生から貴重な**ご指摘**をいただいた。

【例】この論文に対して有益な情報を**下さった**山田花子氏に**感謝**いたします。

(2) 引用の仕方～基本編～

「引用」とは、他の人の意見を自分の意見を述べるための論拠にしたり、反対に批判したりするために、自分の論文の中で紹介することです。その場合、注意しなければならないのは、それが自分の考えではなく**他の人の意見であることがわかるようにしておく**ことです。特に、参考にするために引用する場合、どこからどこまでが人の意見か、どこからが自分の意見かを明らかにしておかないと、せっかく新しい意見を書いている、それは他の人の文章の一部だと思われてしまいます。

また、他の人の考えを自分の考えとして論文に使うことは「盗作」や「剽窃^{ひょうせつ}」と呼ばれ、研究者としては重大な罪となるのです。そうならないために論文の中に注を打ち、**出典が何なのかをわかるように**しておきます。

①本文に「 」を使って引用（インライン引用）

科学が認識論に基礎を置くのではなく、逆に認識論が科学に基礎を置いているというクワインの主張には同意できる。ところが、このことからただちにクワインは、「**だから認識論は自然科学内部の企てであり、心理学の一章なのである**」²と結論してしまう。

引用する部分が短いときは、本文の中に「 」で引用し、すぐ後ろに注番号を打って出典先を明示します。

② 1行空け2文字下げで引用（ブロック引用）

佐藤佳子は、自動車産業における外資系資本の影響について次のように述べている。

現在、欧米を中心にした個人投資家は日本の自動車業界の目覚ましい躍進に大いに期待を寄せている。それはE.ジェームスンが採用したカブト自動車経営再建の方法論が今後あらゆる自動車業界に影響をもたらす見通しがたったからである。³

ここに見られる佐藤の見解は、従来の利益誘導型経営参画の云々…。

引用が長い場合には、本文と引用の間に1行空け、引用する部分は、行頭から2字分下げて（インデントして）書きます。

² Quine, W.V.O. (1969). *Set theory and its logic*: Belknap Press of Harvard University Press, p.65. 翻訳は〇〇。

³ 佐藤佳子 (2002) 『新時代のメーカー経営』 民明書房、p.125

③ブロック引用する場合の注意点

佐藤佳子は、自動車産業における外資系資本の影響について次のように述べている。

引用に移る前に文章を「。」で終わらせる

現在、欧米を中心にした個人投資家は日本の自動車業界の目覚ましい躍進に大いに期待を寄せている。それはE.ジェームスンが採用したカブト自動車経営再建の方法論が今後あらゆる自動車業界に影響をもたらす見通しがたったからである。⁴

ここに見られる佐藤の見解は、従来の利益誘導型経営参画の云々…。

スペースキーで処理しない。

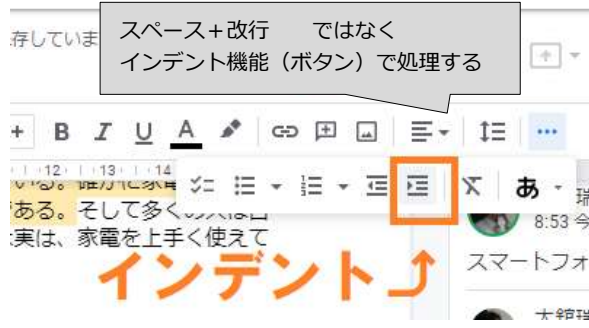
改行（リターンキー）で処理しない。

「引用しっぱなし」にならないよう。引用元について

- ・この引用部分で氏が述べているのはこういうことなのだ（言い換え）
- ・この引用部分の中でも特にこういう点に注目したいのだ（強調）
- ・この引用部分からこういうことが導かれるのだ（根拠）

など「自分の言葉による解説」を引用の後の本文に加えること。目安として「4行引用したなら4行分自分の言葉で解説する」。

スペース+改行ではなくインデント機能（ボタン）で処理する



④何度も引用する

同じ論文の中ですでに引用したものと同一文献から引用するときは、**出典を繰り返すか、前掲、もしくは注番号を指示して「3に同じ」と書きます。**

めざましい発展を遂げるインド周辺諸国の中で、 Bangladesh の果たす役割の大きさはさまざまに論及されている⁵。

めざましい発展を遂げるインド周辺諸国の中で、 Bangladesh の果たす役割の大きさはさまざまに論及されている⁶。

⁴ 佐藤佳子（2002）『新時代のメーカー経営』民明書房、p.125

⁵ 前掲「高度成長期の遺物」 pp.3-4

← 「前掲」として示す書き方

⁶ 3に同じ（あるいは「同前」）

← 注番号を指示する書き方

(3) 引用の仕方～引用元を加工する～

a. 要約して引用する 重要!

経済発展を達成した日本では人件費の上昇と新造鉄価格の下落が起こり、解撤業は国内でたちゆかない産業となってしまった。現在、解撤は開発途上国でのみ成り立つ産業といえる。「高度成長期の遺物」(国際協力機構編『国際協力』2004年5月号)より

例えば、↑上記のような文章を利用したいが、自分の言葉で要約して、本文の中に埋め込んでしまいたいという場合、↓下記のように書くことができます。

バングラデシュのチッタゴン郊外には、日本製の巨大な廃船が続々と解撤されている。**経済発展を達成した日本では、すでに国内ではたちゆかない産業となっており、現在では開発途上国でのみ成り立つ産業となっているのだ⁷。**

これは純粋な意味での「引用」とは言えませんが、引用に近い形なので出典を示しておきます。

c. 一部を省略して引用するときは(中略)を使います。

森武文は「明治中期になると、繊維工業が発達し、**(中略)**加工貿易の原型が完成した」⁸と述べている。

d. 下線や傍点をつけて、引用元の一部を強調したい場合は(下線/傍点は筆者)と書きます。

森武文は「明治中期になると、繊維工業が発達し、(中略)加工貿易の**原型が完成した**」と述べている**(下線は筆者、以下同様)**。

e. 引用元に改行があるときは、スラッシュ(/)を入れます。

森武文は「その後明治中期になると、繊維工業が発達し、その周辺産業が隆盛する。
ここに、加工貿易の原型が完成したのである」と述べている。

⁷ 国際協力機構編「高度成長期の遺物」(2004)『国際協力』2004年5月号、pp.1-2

⁸ 森武文(1995)『日本近代の夜明け』工業技術社、p.135

(4) 作品分析の場合の本文の引用の仕方・出典の示し方

(例) 分析対象が芥川龍之介『地獄変』だった場合

『地獄変』の語り手が、どのような「堀川の大殿様」像を生み出しているのかについて、注目してみよう。冒頭の「堀川の大殿様のような方は、これまではもとより、のちの世にはおそらく二人とはいらっしやいますまい」⁹から始まる、語り手の「大殿様賛美」とも言える振る舞いは、作品全体に通底するものだと言えよう。これは単に「大殿様」のみを賛美するにとどまらず、それによって、もう一方の極にいる良秀を貶める役割をも果たしている。例えば、「いかに本朝第一の絵師にいたせ、よくも大殿様の御前へ出て、そのような高言が吐けたものでございます。」(p.16) といった語りはその典型だと言えよう。

2箇所目以降の本文引用の場合は、このようにページ数だけ書けば良い。あなたの論文の読み手は、注1を読めば、それ以降は「これはハルキ文庫版の16ページなんだな」ということが理解できるので。

あなたの論文ではじめて分析対象となる作品の本文を引用する場合だけ、このように脚注で出典を示す。あとは、この下線部の文言を書けば、脚注は不要となる。

「底本」とは「常に分析対象とする本・テキスト」のこと。文学作品の場合は、いろいろな出版社から出版されている上に、それぞれで表記や表現の違いが生じるために、このように「どの本を見ているのか」を明らかにしなければならない。古典の場合になると、どの本を見るかによって表記だけでなく内容まで大きく異なる場合があるので、「烏丸本の『徒然草』を見ているんですよ」というようなことをあらかじめ断っておく必要がある。

⁹ 芥川龍之介 (2012) 『地獄変』 (ハルキ文庫、p.6) 以降、本論における引用は本書を底本とする。

分析対象となる作品以外の、「参考文献」については、その出典を脚注にて明記する

(5) 書誌情報や図表の書き方 (APA¹⁰方式)

1. 単行本

1) 単著書の場合

著者名 (発行年) 『書名』 出版社名、引用頁

例) [通常] 正岡子規 (1902) 『子規随筆』 春陽堂、p.101

[新書・文庫] 中山元 (1996) 『フーコー入門』 ちくま新書、pp.33-37)

[翻訳書] W - J・オング／桜井直文・林正寛・糟屋啓介訳 (1991) 『声の文化と文字の文化』 藤原書店、pp.14-15

新書や文庫の場合、出版社名ではなく新書名・文庫名を

翻訳者名は、著者名の後に「〇〇〇〇訳」という形で

2) 共著書の場合

著者名 (発行年) 「分担執筆題名」 編者名 編 (いない場合は単行本全員の著者名) 『書名』 出版社名 引用頁

最初に収録論文の情報、その次に単行本自体の情報

例) 赤間巫生 (1994) 「〈未亡人〉という記号」 小森陽一・中村三春・宮川健郎編『総力討論 漱石の『こころ』』 翰林書房、p.118

2. 雑誌記事、雑誌論文

著者名 (発行年) 「雑誌記事、論文題名」 『雑誌名』 「特集名」 巻・号所収、出版社あるいは発行機関、引用

「所収」(収められていること) という語を忘れないこと

例) 日高佳紀 (2000) 「トランス・ジェンダー」 『國文學 解釈と教材の研究』 「恋愛のキーワード集」 第46巻第3号所収、学燈社、p.203

3. 新聞記事

著者名 (あれば) 「新聞記事題名」 『新聞名』 ○○版、発行年月日、朝刊・夕刊の別

例) 村雲司 (2003) 「米大使館前で抗議排除とは」 『朝日新聞』 東京版、2003年3月20日朝刊

4. インターネット

サイト主宰者名 (発行年) 「サイト名」 URL 最終閲覧日

例) 総務省統計局 (2010) 「日本の統計」 <http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm>
2010年6月14日閲覧

5. 判例の示し方

裁判所・審判所名の略称 裁判形式の略称 年号○年○月○日 掲載誌の略称 ○○巻 ○号 ○○頁。

詳しい示し方については「論文 判例 引用」等の検索語を用いて確認すること。

例) 最決平成2年11月20日刑集44巻8号837頁。

例) 東京地判平成23年10月31日裁判所HP参照 (平成21年(ワ)31190号)。

¹⁰ American Psychological Association (米国心理学会) の略。社会科学系の学術論文では一般的な形式。

第3章 「問い」を立てる

(1) 春休みの課題

▶ 卒業論文テーマを定め、以下の要領で探究マップを作成する

- 【やること】
- 1, 論文のテーマ（分析対象）を定める
 - 2, 最低2冊の書籍を読む
※どんな本を読むべきか？については第3章（3）参照
※読んだ本の「奥付」のあるページをA4サイズでコピー
 - 3, 探究マップを作成する →見本は次ページ
- 【提出物】 ①探究マップ ②読んだ本の奥付（A4サイズでコピー／最低2冊分）
- 【提出日】 1学期最初の〈論文〉授業時
- 【注意点】
- ・未提出・未完成（「未完成も同然」というものも含む）の場合は－20点減点
 - ・分析対象を具体的に絞り込み、学術的な分析装置を用意すること
 - ・「分析対象／分析装置」については、第3章（3）を参照すること
 - ・探究マップ付箋①に分析装置として参考にした書籍名を書くこと

【参考】奥付のページとは…？

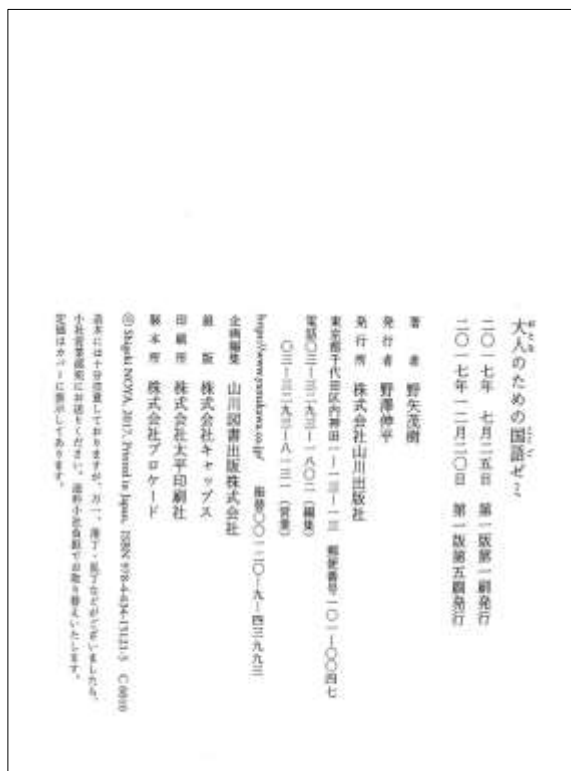
著者名 →野矢茂樹

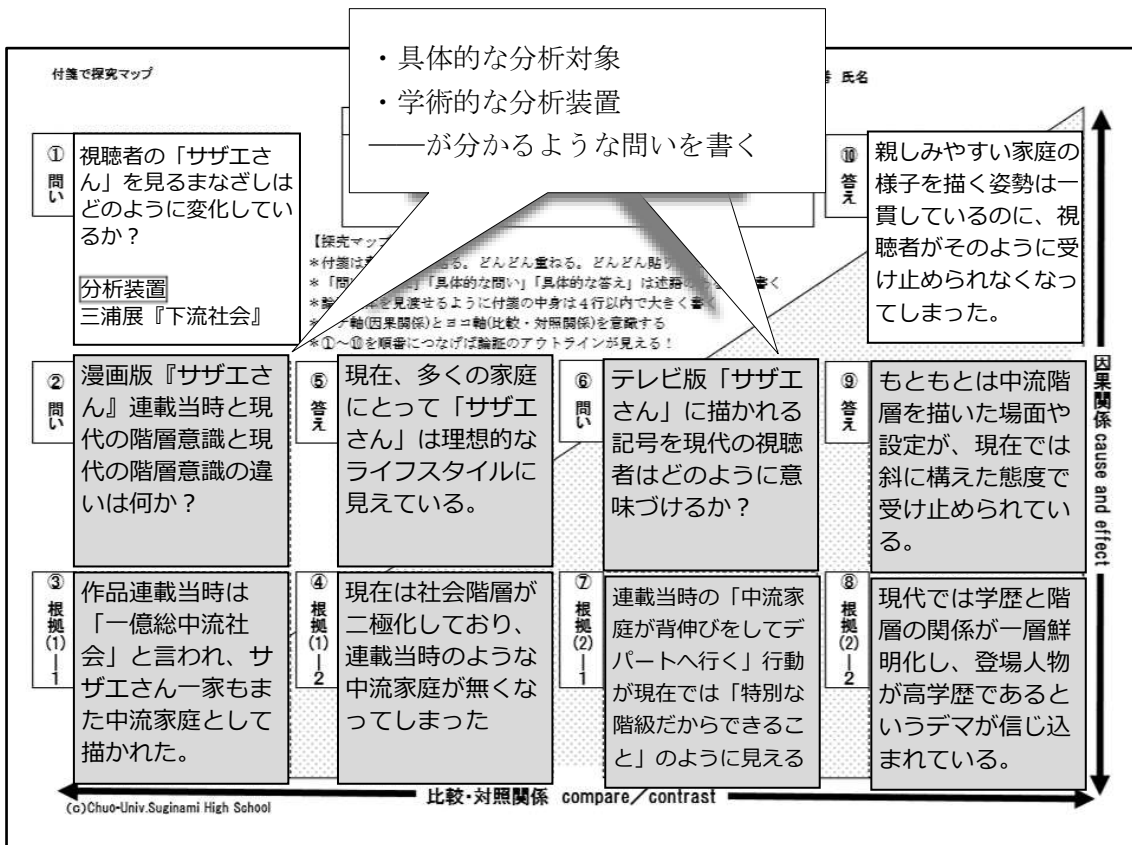
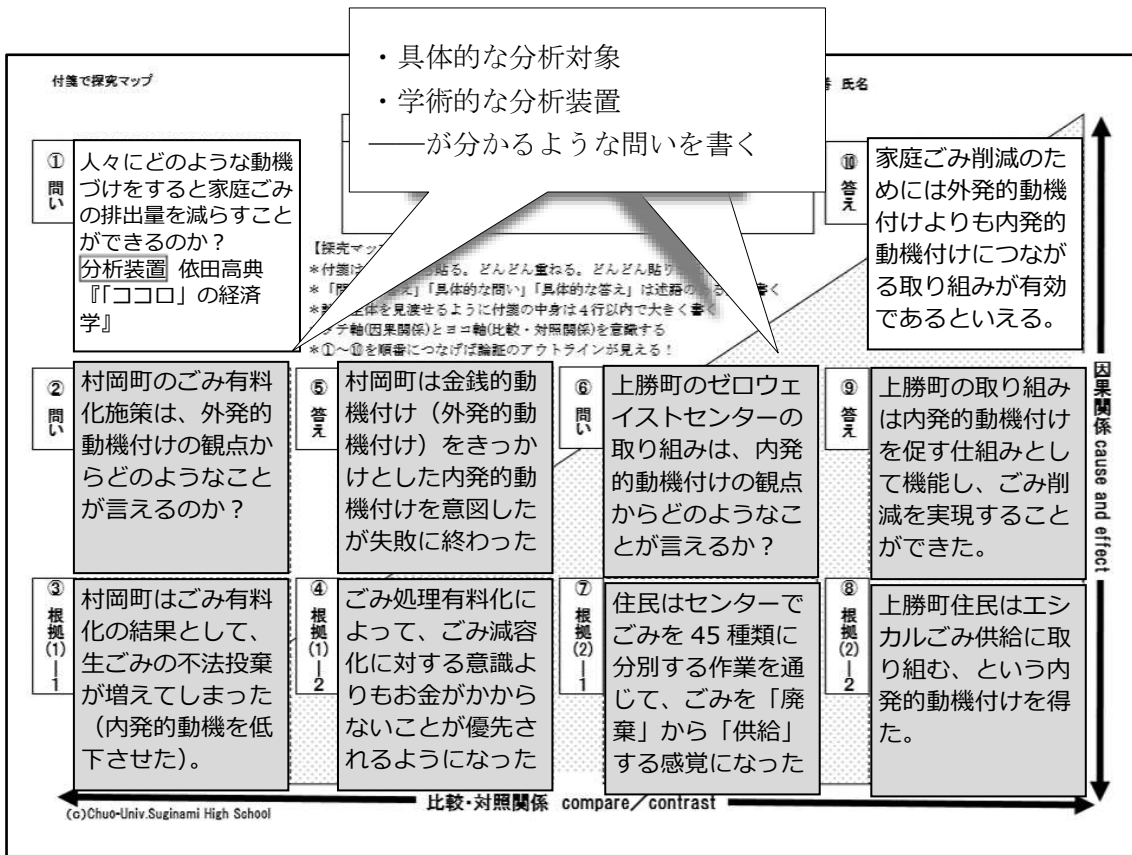
タイトル→『大人のための
国語ゼミ』

出版年 →2017年

出版社名→山川出版

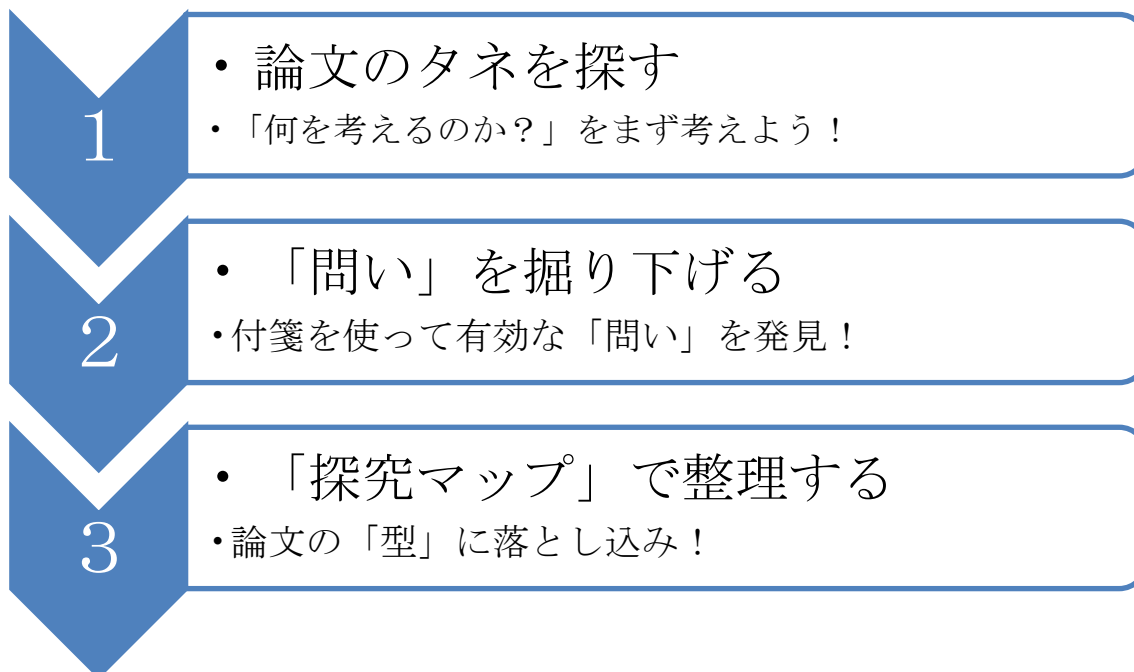
の情報がひとまとめになっている
ページのこと
(だいたい本の最後にある)





(2) 書き出すまでの3ステップ

論文を書き出すまでには、以下の3つのステップが必要です。



【ステップ1】論文のタネを探す

「考える」とは、「問い」を立てて「答え」を出すプロセスのことです。以前から抱いていた疑問を発展させる、書籍を読む、などして、考える価値のある問題を探しましょう。図書室にある『卒業論文要旨集成』という冊子には、年度ごとの優秀論文が全文掲載されています。

【ステップ2】「問い」を掘り下げる

大きな「問い」に答えるためには、無数の具体的な「問い」に答える必要があります。刊行されている書籍や白書、先行研究論文などを踏まえて、問題を分解し、取り組むべきテーマと問題の全体像を把握しましょう。

【ステップ3】「探究マップ」で整理する

残念ながら、集めた情報や分析した結果のすべてを論文に活かすことはできません。論じるためにサイズを整え、論文の章構成をイメージしながら「探究マップ」を使って整理しましょう。

(3) 分析対象と分析装置

学術論文における両輪は

分析対象 と
分析装置 です。

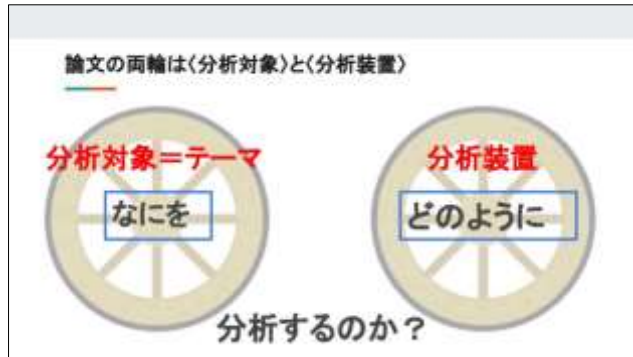
図が示すように、

分析対象

→何を分析するのか？

分析装置

→どのように分析するのか？



という違いがあり、この両方についてバランスよく勉強を進める必要があります。

(例)

分析対象（何を分析する？）		分析装置（どのように分析する？）	答え
家庭ごみの排出量を減らすための、ある自治体の取り組みを…	→	外発的動機付け／内発的動機付け という観点から分析する	分析装置を通して検討すると、分析対象にはどのような特徴があるか？
炎上したCMの事例を…	→	性別役割分業・新性別役割分業という観点から分析する	
地方創生を目的とした「ビル泊」という宿泊業態について…	→	地域資源の新たな価値づけによる「物理空間の再構成」という観点から分析する	
観光地としての浅草のインバウンド戦略について…	→	サステナブルツーリズム推進の観点から分析する	
『罪と罰』においてラスコーリニコフが見た夢の意味について…	→	補償メカニズムと三層のコンプレックスの観点から分析する	
『君たちはどう生きるか』に登場する「浦川くん」の役割について…	→	E.ゴフマンの「ドラマツルギースティグマ」の視点から分析する	
映画「ズートピア」におけるニックの変化について…	→	アイデンティティ・ポリティクスの観点から分析する	

分析対象に詳しくなる＝情報収集の側面が強い。選んだ分析対象によっては書籍を読み込むことよりも「作品を繰り返し読み込む」「ウェブから最新の情報を集める」「取材をする」ことが優先されるケースも多い。結果として、分析対象（テーマ）が絞り込まれていくことになる。

分析装置に詳しくなる＝学術的な文献を集め、読み込むことが必須（なのにこれを怠る人が多い）。分析対象（左列）それ自体について必死に調べても、分析装置は得られない。分析装置を得るためには「分析対象はどのような学問領域で取り扱われるのか？」を知る必要がある。（第3章（6）参照。）

(4) 資料・先行研究の収集

どのような先行研究を読み、どのような資料を集めたかで、その論文の出来が決まってしまう(研究者は、まず注と参考文献リストを読み、その論文の出来をみます)。ここでは資料の集め方とインターネットの利用法について紹介します。

1. 先行研究とは何か。

研究をおこなうに際しては、その研究に関係する先行研究の論文を読む必要があります。これは自分がやろうとしている方面ですでにどれだけのことが解明されているか/いないかを把握するリサーチ作業です。関係する先行研究を全てチェックして状況を完璧に把握した上で自らの研究に取りかかる…というのが理想ですが、実際には「関係する先行研究を全てチェックした」と言い切れることはなかなかないので、適当なところで研究に取りかかりつつ、並行して先行研究探しも続けるということになります。¹¹

※作品分析の場合、「研究対象」と「先行研究」を混同しないよう注意。

『風の谷のナウシカ』という作品を研究して論文を書く場合――

研究対象→『風の谷のナウシカ』という作品

先行研究→『風の谷のナウシカ』について論じた論文

例：村瀬学(2004)『宮崎駿の「深み」へ』平凡社新書

2. 探した本が先行研究として使えるか。

- 1) 「注」「参考文献リスト」のどちらも載っていない本は、研究書とはいえない。
- 2) あまりに文体がくだけている場合、「注」「参考文献リスト」のどちらかがあったとしても、使い物にならない可能性が高いので注意。
- 3) 「辞典」「事典」等を見るのはいいが、それはあくまで下調べの段階で使う本であって、先行研究にはならないし、「参考文献リスト」にも載せることはできません。しかし逆に言えば、下調べの段階では、大いに利用すること。自分が立てた「問い」があっさり氷塊してしまうかもしれません。

3. 本や論文をコピーするときには

使用したい箇所だけでなく、必ず、書誌情報が掲載されている

「奥付」もコピー(スクショ)し、保存すること!

この「奥付」がないと、注や参考文献リストを作るとき、ものすごく苦労します。

¹¹ 田中草大(2022)『# 卒論修論一口指南』文学通信、p.40

4. 中央大学杉並高校図書室 探究学習・論文作成 お役立ちリンク集

掲載されているリンク先一覧（2023年2月現在）



◆自宅からは利用できないもの

- ・中杉図書室の蔵書検索
- ・読売新聞の記事検索

◆図書室・PC 教室端末でのみ利用可能なサービス

- ・朝日新聞の記事検索
- ・大宅壮一文庫雑誌記事検索 …大衆娯楽誌・風俗誌に掲載された記事の検索
- ・LEX/DB インターネット …法律情報データベース

◆卒業論文お役立ち～入門編～

- ・探究マップ PDF データ
- ・先輩の優秀論文を読む
- ・中央大学図書館の蔵書検索
- ・新書マップ
- ・Amazon

◆研究論文を探す

- ・CiNii
- ・J-STAGE
- ・Google Scholar

中央大学図書館の蔵書を手にとって読みたい場合は、論文担当の先生に相談してみてください。

◆公的な情報やデータを得る

- ・e-GOV 法令検索 …総務省：現行法規（法律・条令）を調べる
- ・裁判所判例検索 …裁判所公式。裁判所の裁判例情報を検索
- ・白書一覧 …各行政機関が公表する白書や年次報告書の一覧
- ・e-Stat 統計で見る日本 …総務省：政府の各省庁の統計情報を探す
- ・総合統計書『日本の統計』 …総務省統計局：広範な分野にわたる基本的な統計
- ・総合統計書『日本統計年鑑』 …総務省統計局：年度ごとにまとめられた統計
- ・RESAS（リーサス） …地方創生に関わる統計のサイト
- ・V-RESAS（ブイリーサス） …新型コロナと地域経済の関係を示すデータ
- ・カーリル …近所の図書館を検索

◆もっと本を探す

- ・カーリル
- ・国立国会図書館
- ・Webcat Plus
- ・専門図書館リスト
- ・青空文庫
- ・みらいブック
- ・スタディサプリライブラリ

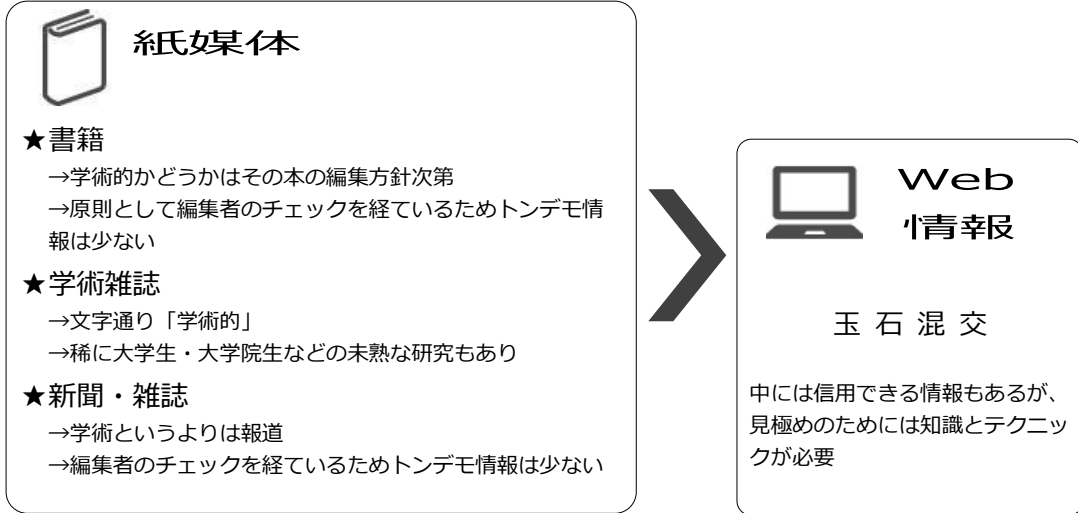
◆ことばづかいや表記

- ・コトバンク
- ・weblio 類語辞典
- ・IT 用語辞典
- ・J-GLOBAL 科学技術用語検索
- ・Web NDL Authorities

◆デジタルアーカイブ（詳細略）

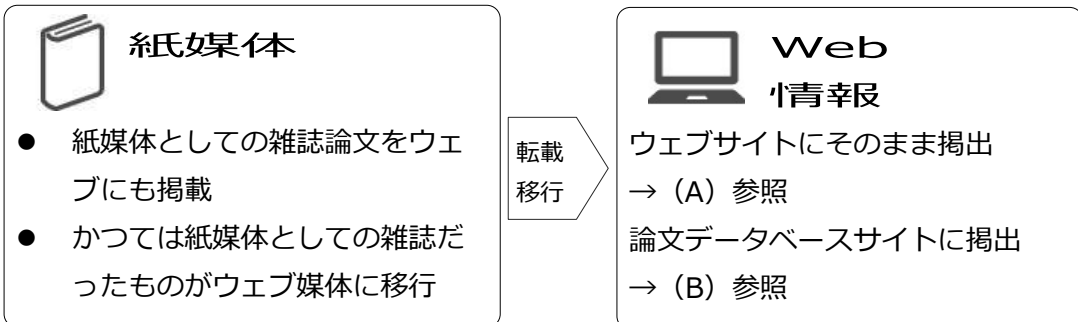
5. インターネットの利用法について

a) 紙媒体かウェブ媒体か



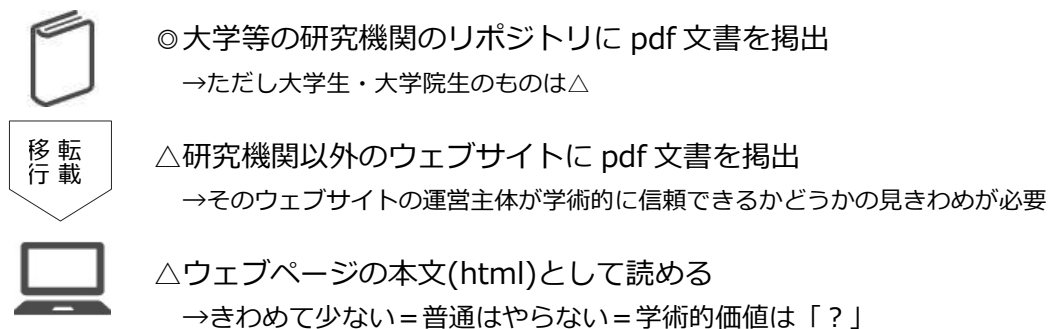
b) ウェブで得られる学術的文献

～（今のところ）紙媒体をベースとしているものが価値アリ～



c) ウェブで得られる学術的文献

～（A）紙媒体をベースとしたものがウェブサイトで読めるケース～



d) ウェブで得られる学術的文献

～ (B) 論文データベースサイトで読めるケース～



- ◎ 論文データベースサイトで読めるものは学術的な文献だけ！
→ 出どころのあやしい pdf 文書はない



代表的な論文データベースサイト



- ・ Google Scholar
- ・ J-STAGE
- ・ CiNii (サイニィ)

e) ウェブで得られる学術的文献

～その他、紙媒体ベースではないが信頼できる情報～



- ◎ 政府機関や公官庁のウェブサイトにある情報
 - ・ 「白書」などの年次刊行物
 - ・ 統計データ
 - ・ その他の公文書

- ◎ 企業が自社のウェブサイトで開催する自社の情報

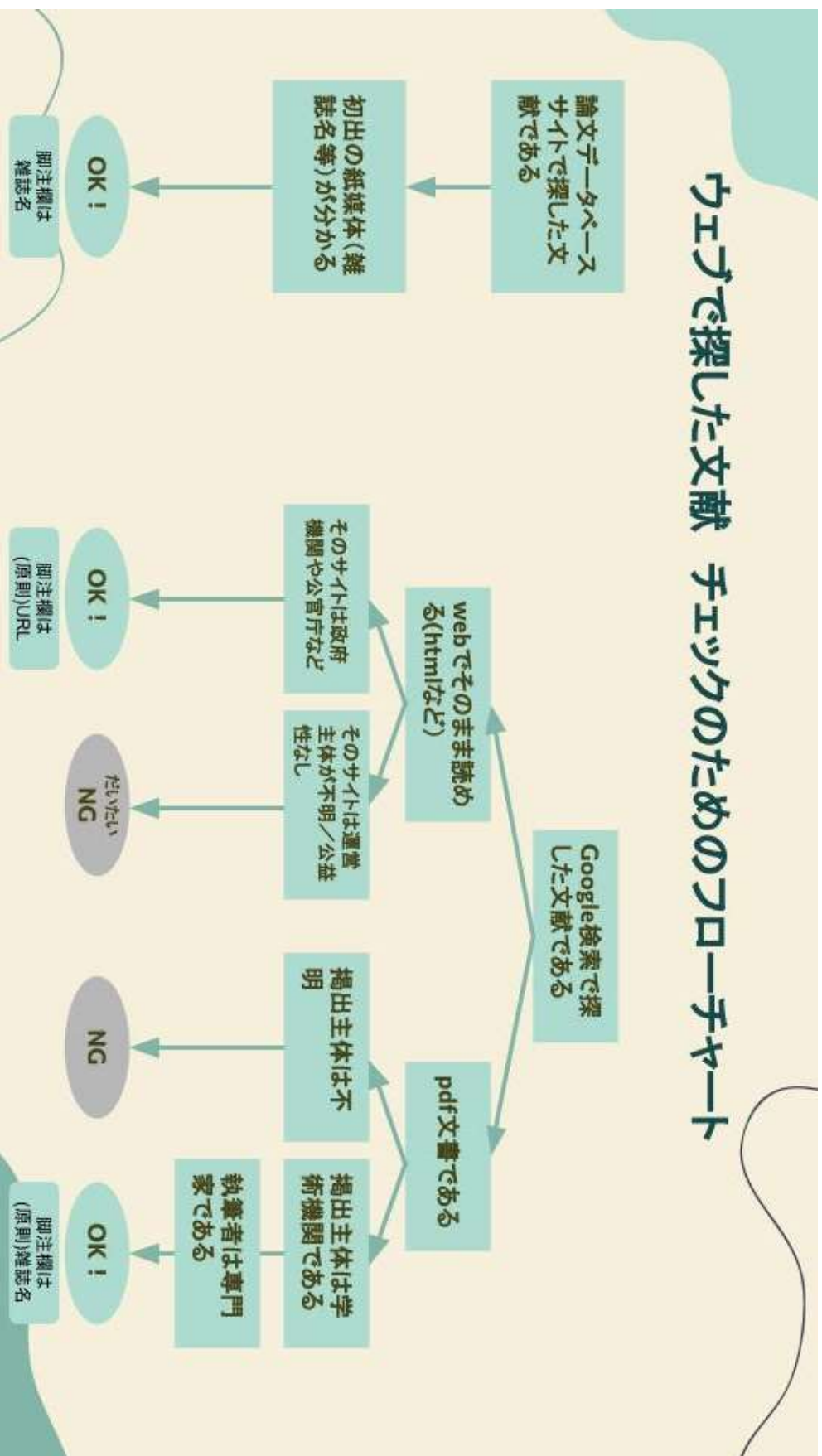
f) その他、ウェブで得られる情報との付き合い方



- ◎ 「pdf 文書 = 信頼できる文献や情報」ではない
執筆者の所属や掲出主体が分からなければゴミ情報
google 検索結果から得た pdf 文書は要注意

- ◎ Wikipedia、個人ブログ、SNS、note などは、見ても良いが
根拠にも参考文献にもならない。

ウェブで探した文献 チェックのためのフローチャート

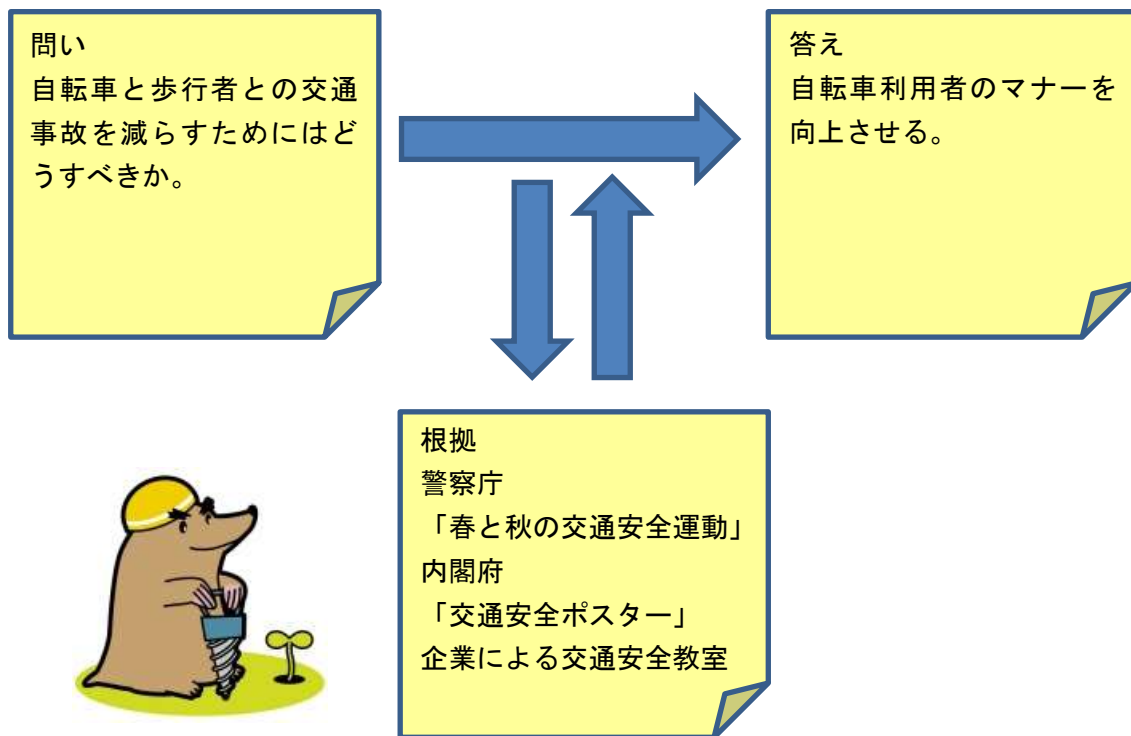


(5) 有効な「問い」の見つけ方

論文の「テーマ」とは、「話題」のことではありません。「テーマ」は必ず、論じようとする対象が持っている「問題」を解決するための「問い」の形を取ります。ではどうすれば有効な「問い」を見つけられるのでしょうか。

論証の基本は、「問い」と「答え」と「根拠」でできた逆三角形です。付箋を使って考えてみましょう。

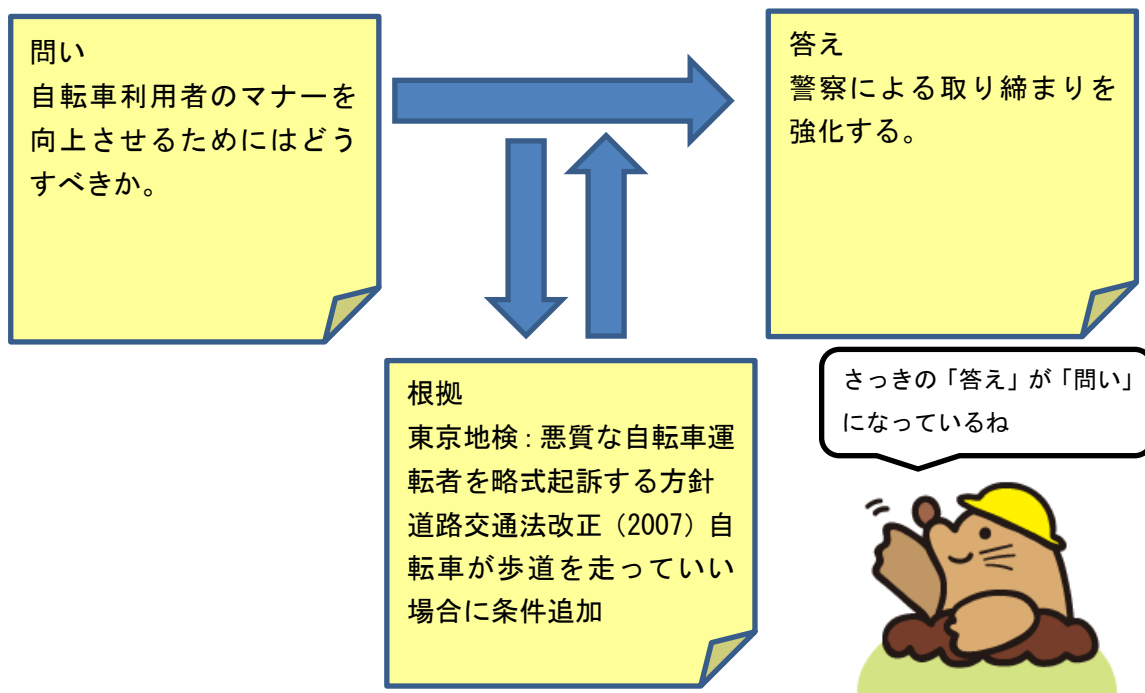
例えば、「自転車と歩行者との交通事故を減らすためにはどうすべきか。」という素朴な疑問を「問い」にした場合、仮の「答え」を想定し、その「根拠」になりそうな事例やデータを考えます。



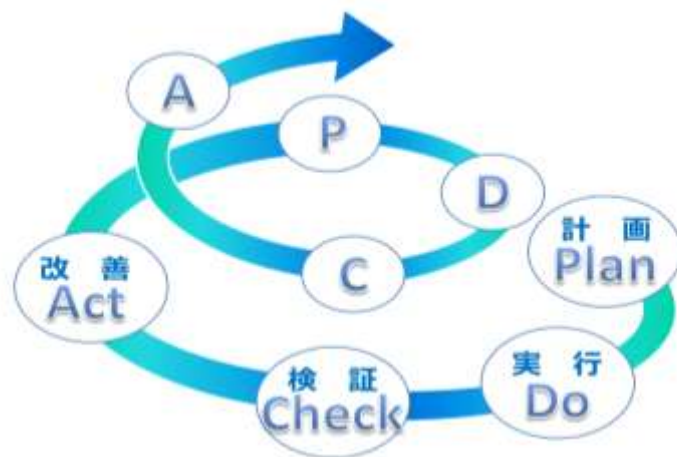
「自転車と歩行者との交通事故を減らすためにはどうすべきか。」という問いに対して、「自転車利用者のマナーを向上させる。」という答えを考えてみました。そこで、「交通安全」というキーワードで調べてみると、内閣府や警察庁主導で「交通安全運動」が実施され、民間企業も小学校などで交通安全教室を開催していることがわかります。これでまず、基本の論証ができあがりました。

もちろん、これで終わりではありません。ここから、さまざまなことが考えられます。「自転車利用者のマナーを向上させるための、他の方法はないのだろうか?」「さまざまな啓発運動がされているようだが、事故の数は減っていない。どうしてだろう?」「道路に関する法律って、どうなっているんだろう?」と、新たな疑問が生まれてきます。

そして、最初に作った論証を基本にして、「**答え**」の**ところにあつた付箋を「問い」**に持っていくと、「問い」がどんどん掘り下げられて「論証すべき小さな問い」が見えてきます。



「答え」は、あくまで「仮の答え＝仮説」です。検証を繰り返し、新たな「問い」を立ち上げることで、考察が深まっていくのです。論証図を作るためには、下記のPDCAサイクルを何度も繰り返すことが重要です。



注意！こういうテーマ(問い)は論文にならない！

1	調べればわかること(例)飛行機はなぜ飛ぶのか。
2	一生わかりそうにもない大テーマ(例)人間とは何か。
3	「答え」がないもの(例)望ましい人間関係とはどのようなものか。
4	「答え」が先取りされているもの(例)〇〇はなぜ人気があるのか。
5	HOW TO もの(例)どうすれば英語が話せるようになるか。
6	現在進行中のもの(例)米軍基地を移設すべきか。

その他の、ダメ (になる可能性が高い) テーマのジャンル

- 1) 漫画／アニメ／映画 (→「作品」より面白い「作品論」を書くのは難しい)
- 2) 学校教育／英語教育 (→「自己否定」はイタイ)
- 3) スマホ・ゲーム依存／SNS (→論文になりません)
- 4) ディズニーランド (→オリエンタルランド最高！で終わる)
- 5) 死刑制度／時効制度／安楽死 (→6,000字では論じきれない。もっと絞って)
- 6) 環境問題(温暖化／ゴミ／発電法) (→6,000字では論じきれない。もっと絞って)
- 7) 雇用問題(非正規／女性／障害者) (→6,000字では論じきれない。もっと絞って)
- 8) 待機児童／犬猫殺処分 (→先輩が論じ尽くした感あり)
- 9) オリンピック／ワールドカップ／スポーツ全般 (→「調べて終わり」の可能性高し)
- 10) 文化比較 (→比べてどうするのか、こそがテーマ)
- 11) 流行りもの (→マーケティングは上記4番に抵触。流行のCM、ドラマ、アニメ、漫画は6番に抵触。)
- 12) 政治 (→政治的判断の価値は、未来の人々が決めること)
- 13) 歴史 (→「史実」を確かめるのはとてつもなく難しい)

ダメなタイトル

- 1) ～の影響、～の効果 (→検証のしようがない。言っぱなしになる)
- 2) ～について (→何が言いたいのか、主張の方向性が見えません)

ダメな結論

- 1) みんなの意識を変えるべきだ。(→小学生でも言える)
- 2) 一人ひとりが気をつけるべきだ。(→それでいいのか?)
- 3) 国や自治体で何とかするべきだ。(→責任転嫁。実現可能な提案を具体的に言きましょう)

☆論文のテーマ(問い)は、「えっ。こんなに小さな問題でいいの?」と思うくらいに絞り込むこと。漠然とした問いは、いつまで経っても書き出せないか、概論を述べるだけで終わってしまう。論文を読んだ人に、「ふむふむ。それで?」と言われてオシマイ。

※もちろん、上記ジャンルを扱っていけないわけではありません。

志(こころざし)のある方は、是非挑戦してください。

(6) 分析装置の探し方～大学のシラバスを検索する～

学術論文を書く以上、自分の書こうとしているテーマがどのような学問領域に属しているのかを知る必要があります。ここではその調べ方（+学術用語を知る手段）を紹介します。

Step1)中央大学のシラバス (<http://syllabus.chuo-u.ac.jp/syllabus>) をフリーワード検索する

Step2)分析に使いそうな「学問領域の名称」を知る

→〈分析の対象〉を具体的に絞り込むのと同時に、〈分析の枠組み（研究領域）も絞り込む

例)〈分析の対象〉を具体的に絞り込む

体罰の問題 > 高校での体罰 > 高校での部活動での体罰 > ○年○○高校○○部体罰事件

例)〈分析の枠組み（研究領域）を絞り込む

法律学 > 教育法 > 教育法と教育行政の関係 > 「体罰の共犯性」の問題

Step3)シラバスから「研究のための糸口」を探す

→「なんという先生が、そのテーマの専門家なのか？」

「シラバスで指示されている教科書・参考文献にはどのようなものがあるか？」

「そのテーマ（その先生の研究）の研究領域は何か？」→○○学、○○論、○○研究

Step4)テーマ(研究対象)が決まり、研究領域(分析枠組)が決まったときに読むべき本は？

× 「○年○○高校○○部の体罰事件」について論じた本

→この本の事実を丸写しする「調べ学習」になる

○ 法律学 > 教育法 > 憲法と教育法の間連 について論じた本

（「○年○○高校○○部の体罰事件」について（あまり）触れていない方が良い

=自分のオリジナルの分析にしやすい！

※6000 字程度の論文なら、専門書（研究書）の一つの章（一つの節）程度の論考で、十分、分析枠組みになり得ます。

(7) 「具体的事例」の深め方

「根拠」になる「具体的事例」や「エピソード」は、参考文献や WEB から引用することはありません (p.59 FAQ 参照)。

課題解決型論文の「問い」を立ち上げるために、p.15 官公庁 HP や白書にあたる人も多いでしょう。そこからでも、さまざまな事例に触れることができますが、それはきっかけにすぎないことを肝に銘じてください。

例えば、厚生労働省のHPに行けば、次のようなことが成功事例として掲載されています。

例) 人手不足への対応 → 株式会社〇〇では「人柄重視」で採用成功

このまま論文に書いた人は、担当教員から質問されるはず。「えっ? 「人柄重視」って、どのような「人柄」なら採用するのですか? 「人柄」は「だれ」が判断するのですか? そもそも「人柄」ってどうしたら分かるのですか? 面接で分かるとしたら、どんな質問をするのですか? 「成功」はどの時点で判断するのですか?, etc.etc…」

「具体的事例」は「具体的」であることが求められます。そのためには、ネット上に書いてあることだけでは足りません。自分自身でイベントに参加したり、その場を訪ねたりするフィールドワークが必要なこともあるでしょう。コロナ禍を経て、それ以前は対面を伴って行われていたセミナーや研究会、講演会等のイベントが、オンライン開催に移行したケースも増えています。その機会をつかまえようとすればいくらでもあります。

分析装置 (分析の観点) を携え、分析対象である具体的事例にあたり、それを他の具体的事例の中に位置づけてください。

官公庁 (国、地方公共団体)、企業、NPO 団体、多くの組織は開かれています。節度とルールを守り、積極的に動きましょう。

2020 年度例)

高齢出所者 → 高齢出所者の更生保護施設を訪問 (どのような目的で、どのような支援を行っているか、その成果などを調査)

外国人人材の雇用安定 → 外国人人材の雇用安定のための取り組みをインタビュー (社員同士のコミュニケーションや生活に馴染むための支援をどのように行っているかの聞き取り)

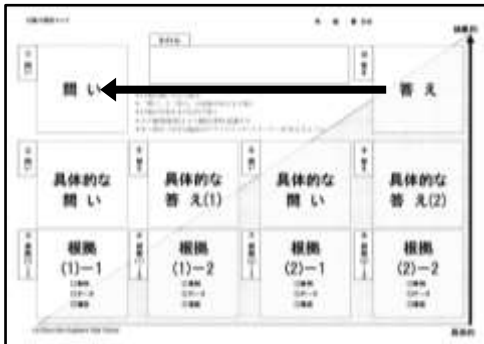


(8) 付箋の更新

【重要！】

タテ軸 = 因果関係 (原因 結果) (cause and effect)
 ヨコ軸 = 比較・対照関係 (比較 対照) (compare/contrast)

① テーマが大きすぎるときは「答え」を「問い」にする



いまのゴールを
スタートにしてみよう！



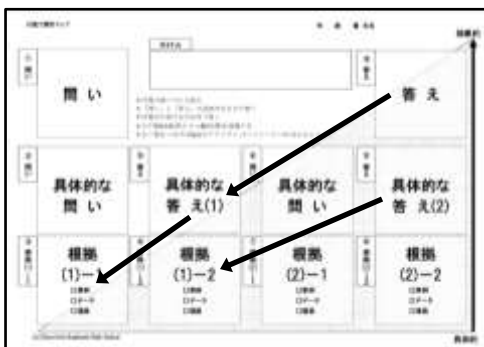
② 前置きが長すぎるときは「根拠(1)」を「問い」の背景にする



① 「問い」の下に根拠(1)の
付箋4枚をしまっちゃえ！



③ 考察がまだ足りないときは「答え」を一段下げ付箋を重ねる



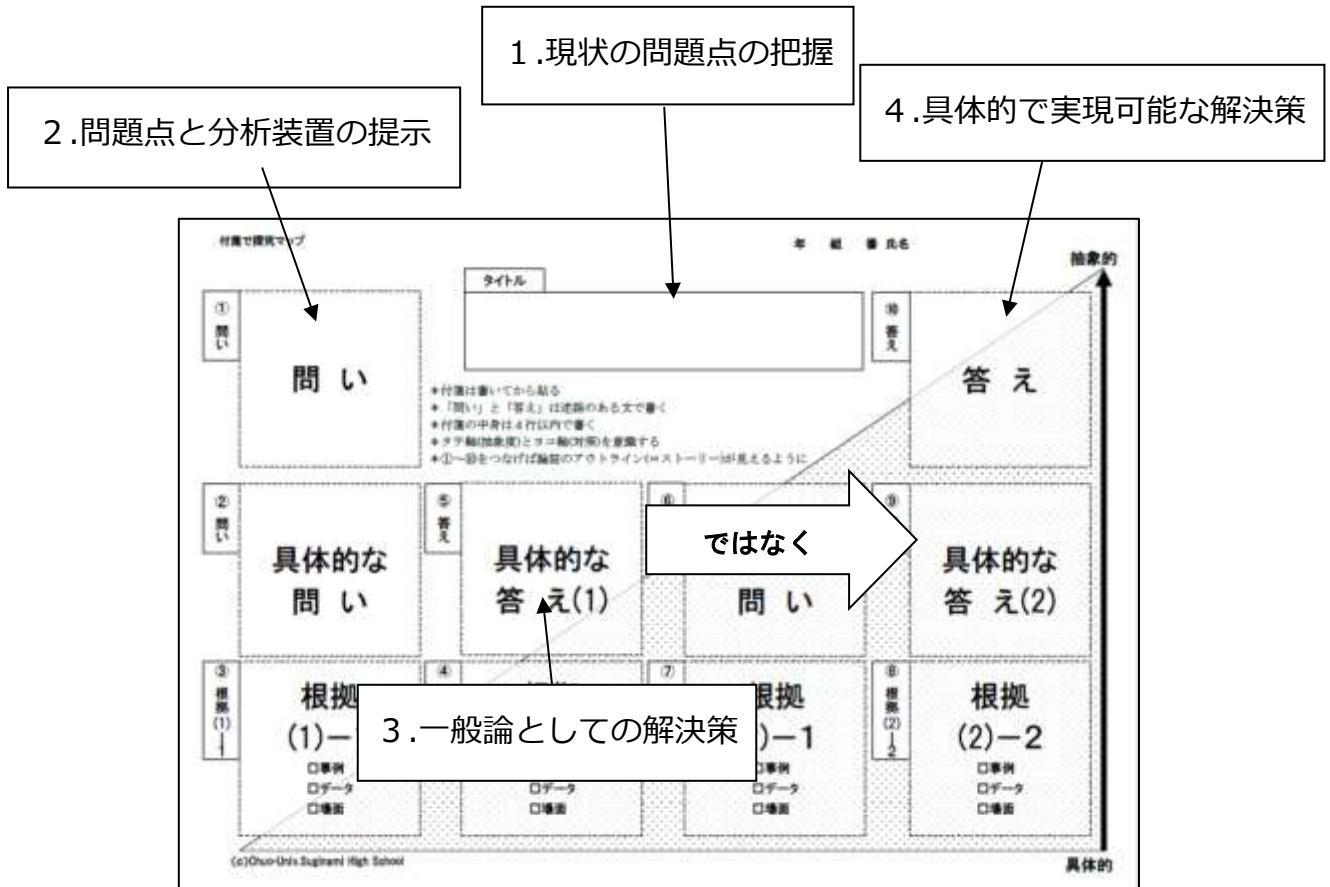
付箋をどんどん重ね貼り！
根拠(2)を根拠(1)へ移動。
空いた右側に論証を再構築



(9) 優秀論文に見られる論理構成の特徴

これまで提出された優秀論文の「答え」の多くは、「～ではなく、～である(べきである)。」になっています。つまり、最初に現状の問題点を提示し(～ではなく)、事例とともに解決策を示して(～である、べきである)、実行に向けたステップ(文学作品の場合は新たな解釈)を1段階ずつ説明していくのです。

- ①「ほんとうの幸」とは、自己犠牲によって得られるのではなく、他者との関わりを求めることにこそ内在しているのである。(44期生『銀河鉄道の夜』)
- ②小中学生の朝食摂取率を上げるためには、家庭への啓蒙活動ではなく、学校朝食を実施するべきである。(45期生「学校朝食」)
- ③メロスが赤面したのは、身の置きどころに窮したのではなく、自らの弱さを自覚しえる「勇者」だからである。(45期生『走れメロス』)
- ④飛行機事故を減少させるには、ハイテク化を目指すのではなく、よりヒューマンインターフェースにするべきである。(45期生「飛行機事故はなぜ減らないか」)
- ⑤孤独死を減少させるためには、介護保険などの行政に頼るのではなく、地域住民の問題意識を高める地域主導の取り組みが有効である。(45期生「孤独死防止」)



(10) ライティング・ラボ

ライティング・ラボとは？

中央大学ライティング・ラボは、レポート、論文など学術的な文章の作成を支援する機関です。2011年4月より多摩キャンパスに設置されました。開室当初は大学院留学生を対象として始まりましたが、徐々に利用学生の対象を拡大し、2013年より多摩キャンパス全体に、同年、後楽園キャンパスでも開室されました。中杉にも2014年から開室されています。

① 誰が支援するの？

中央大学の大学院生が、卒業論文を書くお手伝いをします。アカデミック・ライティング指導の専門的訓練をつんだ先輩たちです。

② 文章がないとだめ？

文章がなくても大丈夫です。論文の「問い」の掘り下げでも「探究マップ」の書き直しでも、相談内容はOKです。

③ 添削してくれるの？

大学院生チューターが添削はしませんが、みなさんにたくさん質問をします。その質問に答えていくと、自然と問いが掘り下げられ、論点が整理されていきます。また、「思考」の仕方がわかります。

④ 先生のコメント、どうしていいかわからない！

卒業論文担当の先生がみなさんの論文につけたコメントに対して、どうしていいかわからないこと、ありますよね。そんなとき、ライティング・ラボを利用しましょう。大学院生チューターと一緒に検討します。

⑤ 書き直しはどうしたら？

修正は論文執筆の大切なプロセスです。どのように書き直していいかわからないときも、ライティング・ラボに来てください。一緒に考えましょう。

ライティング・ラボの指導方針

1. どんな段階でも相談できます。
2. 一方的な添削はしません。
3. 何度でも相談できます。

利用方法

ラボの開設日時が、担当教員から提示されます。相談希望者は、担当教員に申し出てください。相談時間は1コマ40分です。多目的教室1（B1F）か自宅でつなぎ、オンライン指導になります。

ライティング・ラボを利用した生徒の声

- ▶付箋を使ってどんどんアイデアを出していくグループワーク（ガイダンス）を通して、アイデアの出し方について助言をもらった。
- ▶自分がまだ何を書いていいかわからない状態だったので、なぜこのテーマにしたのか詳しく聞かれた。
- ▶論文を書き始めてすぐのころに行ったので、序章（Ⅱ章）のことや問いの立て方に対するアドバイスをいただいた。
- ▶内容が大きすぎてこのままだと10,000字を超えてしまうから、もっとテーマを絞るべきだと言われた。その際、自分がなぜこのテーマを題材にしようと思ったかを考えると問いが立てやすくなるのではないかと助言をもらった。
- ▶自分が知っている知識を整理し、疑問の原点を見極めることが大切だとわかった。
- ▶自分の悩みに親身にむきあってもらえた。
- ▶探究マップの作成にあたり、自分の考えと資料の情報の流れを混ぜて組み立てると分かりやすくなるというアドバイスをいただいた。
- ▶自分の論文の内容を説明することで、論じたいことを対話の中で整理することができた。
- ▶大きな問いと最後の答えの軸が微妙にずれていることと、本当に伝えたいことだけを絞って書くように言われた。
- ▶自分の中では具体的で狭い問いを立てていたつもりでも、言いたいことが重なっていたり、結論に至るまでのプロセスが少しぼやけていたりすることに気がつけた。
- ▶自分の行き詰まったところがどのようなところか、また自分は何を軸にこの論文を書いているのかなど自分でしっかりと考える時間を与えてくださった。
- ▶論を広げる必要情報の絞り方を教えてもらい、一緒に論ずる範囲を確定した。また、有効な資料を紹介してもらい現物を見せてもらった。
- ▶各章ごとに最も重要な文を抜き出し、論文全体を筋道立てる手助けを頂いた。客観的に見てわかりにくい表現や説明の足りない箇所を発見することができた。
- ▶題名から本文の内容が想像できないと言われた。自分の挙げた施策が本当に効果的なのかをしっかりと証明できていないことに気づけた。
- ▶今ある原稿のどこにどんなことを付け加えればいいのか、テーマの中のどこに絞って書く面白い論文になるかを教えてもらった。

(11) プレゼンテーションの仕方

プレゼンテーションの準備

- ① レジюме（例 探究マップ、Google スライド、ポスターセッションなど）を作成する
…担当教員の指示に従うこと
- ② 発表原稿を作成する（p27 発表原稿例）
…指定された時間を有効に活用できるように、事前にリハーサルを行うこと

プレゼンテーションのポイント

- ① テーマを明確に言う…聞き手の理解を深めるために、話の全体像を先に示す。
- ② 根拠を2つ言う…「第1に～」、「第2に～」といった言葉（ナンバリング）で、相手に話の筋道を示す。
- ③ 根拠を裏づける情報を伝える…根拠を裏づける情報や具体例を示す。
- ④ 結論を明確に言う…自分の答え（仮説）を述べ、話の内容をおさらいする。

※良いプレゼンテーションとは、「聞き手に負担を与えない」ものです。

「声が小さい」「レジюмеのどこの説明をしているのか分からない」「つかえてばかりで聞きづらい」などを解消し、聞き手にとって分かりやすい発表をしましょう。

プレゼンテーションの評価

【内容】

- ① 問題設定は適切か
- ② 論証に説得力があるか
- ③ 主張のキーワードは明確か

【発表】

- ④ 声量・話す速さは適切か
- ⑤ 発語ははっきりしているか
- ⑥ レジюмеはわかりやすいか

- 1 ○番 中杉太郎です。
- 2 私は、「**学校朝食の意義～朝食欠食対策から考える～**」というテーマについて研究したいと思います。
- 3 ○○省の調査によると、**現在、小学生の5人に1人、中学生の4人に1人が、朝食をとっていないという結果が出ています。朝食をとらないと、低血糖になり、エネルギー不足のため、学校の授業に集中することができなかつたり、体がだるくなつたりすることになります。そこで私は、朝食の欠食率を下げるために、学校が朝食を提供する「学校朝食」の有効性について考えることにしました。**
- 4 **学校朝食の有効性**について、2つの点からその根拠を説明します。第1に、**政府や地方公共団体レベルで行われている、「朝食啓発運動」が失敗している例を挙げる**ことができます【説明以下略】。
- 5 第2に、**学生に朝食を提供することで成功している事例を挙げる**ことができます。【説明以下略】
- 6 以上を踏まえ、**児童や生徒の朝食欠食率を低下させるには、家庭の意識改革ではなく、学校による朝食の提供が最善の策であると私は考えます。本来、子どもたちの食生活は家庭の問題であることは確かですが、朝食を食べない児童や生徒が少なくない割合でいる現状を考えると、学校単位で朝食を提供することを、もっと真剣に検討すべきだ**と思います。
- 7 以上で発表を終わります。ご意見・ご質問などよろしくお願いいたします。

(12) 論文評価の観点①

評価項目1: 問いの適正(探究マップ)

自分の選んだテーマの背景を把握し、適切な「問い」を立てているか

達成度	詳細	評価
3	テーマに関する適切な問いが、基礎知識や問題の背景としっかりと関連づけられている。	A
2	テーマに関する適切な問いが、基礎知識や問題の背景とある程度関連づけられている。	B
1	テーマに関する適切な問いでなく、基礎知識や問題の背景との関連づけも不十分である。	C
0	レベル1に達していない。	D

評価項目2: 根拠の適正(探究マップ)

複数の資料に基づく確かな「根拠」を論証に取り入れているか

達成度	詳細	評価
3	適切で豊富な1次資料に基づく根拠を、十分な考察のもとに取り入れている。多角的な視点や反論への視点も意識されている。	A
2	適切な1次資料に基づく根拠を、ある程度の考察のもとに取り入れている。多角的な視点や反論への視点がある程度意識されている。	B
1	根拠が適切な1次資料に基づいておらず、論理的でない。反論への視点もない。	C
0	レベル1に達していない。	D

評価項目3: 答えの適正(探究マップ)

確かな資料に基づいた蓋然性の高い「答え」を導き出しているか

達成度	詳細	評価
3	意見を支える根拠とその具体的な情報をふまえ、さらには対立する考えや論破の妥当性を考慮したうえで最終的な結論を導き出している。	A
2	意見を支える根拠とその具体的な情報をふまえ、最終的な結論を導き出している。	B
1	意見や結論は述べられているが、意見を支える根拠とその具体的な情報のふまえ方が不十分である。	C
0	レベル1に達していない。	D

評価項目4: 言語表現(プレゼンテーション)

適切な表現を用い、聞き手の立場に立ったわかりやすい発表になっているか

達成度	詳細	評価
3	ほとんどメモを見ることもなく、つねに聞き手に視線を向けながら、聞き手にとってわかりやすい説明になっている。声量や口調など、発表の態度もよい。質疑応答も適切に対応できている。	A
2	ときどきメモを見つつ、ある程度聞き手に視線を向けながら、聞き手にとってわかりやすい説明になっている。声量や口調に問題は無い。質疑応答もある程度対応できている。	B
1	メモを読み上げ、視線を聞き手に向けず、聞き手への配慮が足りない説明になっている。声量も足りず、口調が不明瞭である。質疑応答へも対応できていない。	C
0	レベル1に達していない。	D

第4章 論文を仕上げる

(1) 夏休みの課題

【課題】卒業論文の初稿（全文）を書くこと

提出…2 学期最初の授業時

提出方法…担当教員の指示に従うこと。

注意…①論文の章構成は探究マップにしたがうこと（下表参照）。

「学校朝食」の意義 ～朝食欠食対策から考える～		
	(字数目安)	(探究マップ)
I はじめに	(400 字)	全部
II 小中学生の朝食欠食状況と朝食の必要性	(1000 字)	問い
III 朝食啓発運動の有効性	(2000 字)	根拠(1)
(1) 「早寝早起き朝ごはん」国民運動と 「朝ごはん条例」		
(2) 学校教育における食育		
IV 朝食提供の有効性	(2000 字)	根拠(2)
(1) 学校朝食		
(2) 朝食ゼミ		
V 学校朝食の意義	(1000 字)	答え
【参考文献及び関連 URL】		

②本文の体裁はすべて論文見本を参照のこと。

体裁に誤りのある場合、本文は読みません。

③本文中の引用文・脚注の示し方も同様。

ネットからの引用は、官公庁か企業 HP・公的研究機関のみ可。

書籍からの孫引きは、不可！！

④本文を必ず音読し、次のことをチェックすること。

ア 主語・述語は対応しているか

イ 修飾・被修飾の誤りはないか

ウ 文と文、文章と文章、節と節、章と章の関係性が明らかか

(2) 卒業生の論文見本【課題解決型】 Word

論文の内容がわかるようなタイトル
「～について」は不可

外国人児童教育の現状と展望

～群馬県太田市の取り組みに見る保護者への意識づけの必要性～

提出日

2000年〇月〇日

〇年〇組 〇番

〇〇 〇〇

この書式のデータ(Word形式)が欲しい人は、
QRコードを読み取るとダウンロードできます。



「はじめに」はアブストラクト(論文要旨)です。論じようとしている話題を提示し、問題を提起します。後半部で、この論文での目的を明確に示しましょう。「はじめに」全体で 400 字くらいの分量が目安です

I はじめに (アブストラクト)

日本では、1990 年に入出国及び難民認定法が改正され、日系人とその家族の労働が合法化された。その影響による外国人居住者の増加に伴い、外国人児童の数も増加している。日本語指導が必要な外国人児童の数も 2001 年の 18,585 人から、2010 年には、28,511 人¹²と、およそ 10000 人も増加しているのだ。そこで、外国人児童の教育はどのように行われるべきなのかを、独自の政策を行っている自治体の例から考察する。本論文では、まず外国人児童教育の現状と問題点について述べ (II)、続いて静岡県浜松市で外国人児童の就学率をあげるために行われている事業と、就学した外国人児童への支援事業を取り上げ (III)、さらに太田市の外国人児童への支援事業、外国人児童の保護者らへの支援事業を示す (IV)。最後に、両市の政策から、外国人児童の教育がどうあるべきかを考察していく (V)。

II 外国人児童教育の現状

日本国憲法第 26 条では、「すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ」¹³とあるが、これが外国人居住者には適応されていないのが現状である。かれら (外国人児童ら) には義務ではなく「許可」として教育の機会が提供されている¹⁴。そのため、各自治体によってその教育の在り方にも相違があり、不就学児童も存在してしまっている。仮に就学したとしても、現在の外国人児童教育には以下のような問題があるのだ。志水宏吉は次のように述べている。

文部科学省の実施する教育施策は、現在のところ、日本語指導と適応指導にほぼ限定されている。「日本語教育が必要な外国人児童」をかかえる学校に日本語指導と適応指導を担当する専任の教師を加配し、「日本語教室」において日本語学習や日本社会のルールを知る機会をもうける、というのが典型的な支援のあり方だろう。¹⁵

つまり、文部科学省が行っている外国人児童の教育は、児童の進路への配慮が十分になされておらず、あくまでも児童らが日本の子どもと同じ行動をとることができる日本語力¹⁶を得させるための支援にしかになっていないのである。外国人児童を同化させることが目的となってしまうのだ。その上、政府レベルでは就学前後の児童に関しては支援事業も特別に行っておらず、現在は、義務教育の間の支援しか行われていない。

このように日本で現在行われている外国人児童教育には、そのあり方に大きな問題があるのだ。全国区での外国人児童に対する進学率調査は行われていないが、その高校進学率は 50%に満たないのではないかと推測されている¹⁷。日本の高校進学率はほぼ 100%に近い中で、それは非常に低い割合であると言えるだろう。

¹²文部科学省 (2012) 「日本語指導が必要な外国人児童生徒の受入れ状況等に関する調査 (平成 22 年度)」の結果について【概要】 (http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/23/08/_icsFiles/afiefieldfile/2011/12/12/1309275_1.pdf) 2012 年 8 月 14 日閲覧)

¹³ 日本国憲法第 26 条

¹⁴ 太田晴雄 (2000) 『ニューカマーの子どもと日本の学校』国際書院、p26

¹⁵ 志水宏吉 (2001) 「学校文化とニューカマーの子どもたち」志水宏吉・清水睦美 『ニューカマーと教育—学校文化とエスニシティの葛藤をめぐって』明石書店、pp. 81-82)

¹⁶ 太田前掲書 p. 220

¹⁷ 特定非営利法人 NPO 浜松ネットワークセンター (2012) 「多文化共生事業」 (<http://www.n-pocket.jp/inclusion/foreigners/education-projects/guidance>) 2012 年 8 月 15 日閲覧)

1 文字分スペースを空けて形式段落をつくる。

数字は半角、年号は西暦に統一。

引用の前に、いったん文を閉じる。

ブロック引用の注はココに打つ。

「句点(.)」の位置に注意。

Ⅱは「探究マップ」の「問い」に該当します。「なぜこの問題が問題なのか？」がわかるように、背景を説明しましょう。目安は1000字。

日本では、高卒者の正社員定着¹⁸の割合が男性で21.3%、女性で19.1%なのに対し、中卒や高校中退者のこの割合は男性5.3%、女性0%となっており、女性の中卒・高校中退者の非典型一貫（フリーター、ニート、家事手伝い等）の割合は72.5%にまで達している¹⁹。つまり、中卒や高校中退では、正規雇用されるのが難しく²⁰、現在の日本では、学歴を身につけないと、職業の選択肢が限られてしまうのである。

外国人児童の高校進学率を上げることは、彼らの進路を拡大することになる。そのために日本はどのような教育施策を行っていくべきか、自治体レベルで独自の政策を行っている静岡県浜松市と群馬県太田市の例から考察していく。

言葉の定義、説明の補足、引用書籍の提示、数字の根拠を示す場合、注を打ちます。文末は句点の前に番号がきます。

Ⅲ 静岡県浜松市の外国人児童への教育

(1) 静岡県浜松市 就学までの取り組み

出入国及び難民認定法の改正の影響によって、静岡県全体にも日系ブラジル人を中心に、外国人居住者数が増加した。2011年12月の時点で、静岡県内には82467人の外国人居住者がおり、全人口の2.46%を外国人居住者が占めている²¹。浜松市の外国人居住者の数も急増しており、県内では静岡市に次いで多い25392人²²が居住している。市内の小中学校に在籍する児童数も1990年には200人だったのが、2010年には2724人²³と、10倍まで増えた。そのような状況に対応するために、浜松市は、外国人児童教育のための市独自の政策を実施している。

進学率の上昇のためには、就学率の上昇も欠かせない。浜松市は、外国人児童の就学のための取り組みを行っている。同市には、就学年齢の外国人登録者数から、公立・外国人学校在籍者を差し引いた推定不就学児童が727人²⁴いるとされている。この推定不就学児童の中には、帰国や転出をした者も含まれており、実態を把握できていないのが現状だ。

浜松市は、そのような外国人児童の不就学の実態を把握し、不就学を解消するとともに不就学を生み出さない仕組みを構築することを目指し、2011年から、不就学ゼロ作戦事業を行っている。この事業では、不就学児童の情報の収集と面談を行い、不就学となった原因を分析し、その結果に基づいて、専門家がカウンセリングや就学準備支援を行い、不就学児童一人一人に合わせた支援を行うことを目指しているのである。

浜松市は、外国人登録窓口での案内を行い、就学を奨励するチラシも自治会や外国人経営者の店舗を中心に配布し、外国人向けの新聞に就学関連情報の掲載を行い、教育相談センターでは就学ガイダンスも行っている。このガイダンスでは、外国人学校と日本の公立学校の

¹⁸ 就職した時点から継続して正社員

¹⁹ 労働政策研究・研修機構（2012）「大都市の若者の就業行動と移行過程—包括的な移行支援に向けて—」

(<http://www.jil.go.jp/institute/pamphlet/index.htm> 2012年9月24日閲覧)

²⁰ 大卒者の正社員定着率は、男性53.0%、女性49.5%

²¹ 統計センターしずおか（2011）「平成23年末日現在の外国人登録者数の発表」

([https://www2.pref.shizuoka.jp/all/file_download1020.nsf/D7B892C09AE4D200492579B10028B775/\\$FILE/ki sha.pdf](https://www2.pref.shizuoka.jp/all/file_download1020.nsf/D7B892C09AE4D200492579B10028B775/$FILE/ki sha.pdf)

2012年8月12日閲覧)

²² 21に同じ

²³ 浜松市教育委員会学校教育部指導課企画部国際課（2012）「浜松市における外国人児童生徒の教育について」

(http://www.h-gyokaku.jp/council_information/pdf/12/02.pdf 2012年8月12日閲覧)

²⁴ 浜松市「外国人との共生社会」実現検討会議（2012）有識者ヒアリング②「共生社会実現に向けた課題と提案」

(<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kyousei/dai3/siryoul.pdf> 2012年8月13日閲覧)

Ⅲ章は「探究マップ」の「根拠(1)」に該当します。

本論その①です。目安は2000字。

ちがい、学校行事や学校生活での決まりなどを外国人児童とその保護者に説明をしている。このように浜松市は、様々な手段を用いて、外国人家庭に就学に関する情報を提供しようとしているのだ。これは不就学児童だけでなく、未就学児童のいる家庭に就学についての理解を深めることも可能にする。

その結果、2011年の4月時点で対象となった96名の不就学児童は、浜松市による支援や情報提供が行われたことで、翌年の3月までに83名が就学した²⁵。浜松市は一人一人に合わせた支援と、情報提供を組み合わせることで、不就学児童を減らすことに成功したのである。

長い引用を「ブロック引用」と言います。全体を2マス分下げる(インデント)のが一般的です。

(2) 静岡県浜松市 就学後の取り組み

さらに浜松市は、就学後の外国人児童のための支援事業にも取り組み、バイリンガル支援者(外国人子女就学支援者)²⁶の派遣を行っている²⁷。このバイリンガル支援者らの行っているのが、「初期適応支援」である。

「初期適応支援」では日本語の分からない外国人児童生徒が外国の学校や外国人学校から編入学する際に、集中的に適応支援を行うもので、学校に入ってはじめての10日間、あるいは一週間に1度10回、バイリンガル支援者が生活や学習の補助を行い、学校生活になじめるようにする。²⁸

ブロック引用の注はココに打つ。

「初期適応支援」では、編入した外国人児童に日本の学校生活に適応させるための指導を行う。その後、外国人児童らは浜松市の小中学校に在籍する児童を対象として、日本語・基礎学力定着指導及び日常生活への適応指導・高校進学のための学力補充を行う教室²⁹である「はまっこ」という教室に参加することもできる。この「はまっこ」では、小学校6校、中学校2校の5・6限を利用して、日本語を児童の習熟度や学年に応じて3人程度に分け³⁰指導している。

ブロック引用の後にくる本文は、1マス分下げる。

さらに、「まなぶん」という派遣型日本語教室も2010年から行われている。「まなぶん」では、1日2時間の初期日本語指導と週2~3日の外国人支援担当教員による取り出し指導

²⁵ 浜松市前掲ページ

²⁶ これは1993年から市単独措置として行われている事業である。この支援者は、「就学相談員」、「就学支援員」、「就学サポーター」から成る。「就学相談員」は、バイリンガル2名と、教員経験者の3名で、学校を訪問し、各学校の教員に「就学支援員」の活用方法や、外国人児童の指導に関する相談、助言、指導を行っている。「就学支援員」は、バイリンガルの市非常勤職員で、外国人児童の多い学校に常駐する。2012年には、市内14校にポルトガル語と日本語を話せる「就学支援員」が派遣されており、学習支援、面談の等の通訳、学校・学年・学級通信等の翻訳を行う。「就学サポーター」は、バイリンガルの市臨時職員で、週に数回の学校訪問を行い、外国人児童の支援を行う。2012年には、46人の「就学サポーター」が、64校に派遣され、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、中国語、ベトナム語、インドネシア語のバイリンガル「就学サポーター」が、1日4時間の間に、学習支援、翻訳業務を行う。

²⁷ 浜松市教育委員会事務局学校教育部指導課(2010) <http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/shikyoi/lsosiki/shido/shidouka-jigyou/shido-index.html> 2012年8月14日閲覧

²⁸ 藤波海(2010)「外国人児童生徒教育の現状、課題、展望——浜松市の事例を中心に」(http://www.soc.hit-u.ac.jp/trans_soci/pdf/3.FujinamiKaiReport2010.pdf#search=浜松%20外国人児童) 2012年8月14日閲覧)

²⁹ 浜松市教育委員会事務局学校教育部指導課(2012)「通級型日本語教室「はまっこ」」<http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/> 2012年8月14日閲覧

³⁰ 水野かほる(2003)「浜松市における外国人児童生徒への日本語指導に関する調査報告」静岡大学『国際関係・比較文化研究』p.357

**IV章は「探究マップ」の「根拠(2)」に該当します。
本論その②です。目安は2000字。**

の補助など、学校における日本語支援・学習支援を補助するための支援者を派遣している。

これらの支援により、浜松市内の外国人児童の高校進学率は、2005年の67%、2009年の72.9%³¹から、2012年には83%³²まで上昇した。これは、浜松市のバイリンガル支援員の就学までの取組みと、「はまっこ」、「まなぶん」のような就学後の取組みが効果的だったことを示している。

だが、これらの支援はあくまでも外国人児童を日本の学校に同化させることで終わっている。初期適応支援も重要だが、それには外国人児童らの将来を切り開くためのものとしては限界がある。これらの事業が開始され、外国人児童の高校進学率は80%を超えても、浜松市全体の96.8%³³には及ばず、80~83%で停滞してしまっており、5人に1人は高校に進学していない。では、その高校進学率を、日本の高校進学率ほどまで上げるにはどうしたらいいだろうか。それを考察するために群馬県太田市の政策を見ていこう。

IV 群馬県太田市の教育

(1) 太田市の児童に対する教育

浜松市の例も含め、現在の義務教育期間に行われる外国人児童教育には問題があると指摘されている。その問題とは日本でよく行われている「取り出し指導」と、「入り込み指導」である。「取り出し指導」とは、国語や社会の時間に学級を離れ、別室で日本語指導と、学習指導を行うものだ。だが、これによって外国人児童らは通常の授業を受けられなくなる。しかもこの指導は、必修科目の学習時間を削った形で行われており、国語や社会などの学習時間が減少してしまう。外国人児童と日本人児童との間に学力格差が生まれてしまうのだ。

また、通常の授業時間内に行われる「入り込み指導」にも問題がある。「入り込み指導」とは、在籍クラスでの授業に通訳となる指導員がつくというものだが、教員によって授業が展開されている間はそちらを優先するため、通訳をすることができない。通訳も度々途切れてしまうこともある。「入り込み指導」でも、効率よく指導・学習することはできない。つまり、未だ良い指導体制が確立できていないのだ。

結局のところ、浜松市の「はまっこ」も「取り出し指導」や「入り込み指導」であって、必修授業の時間に行われるため、日本人生徒との教科学習時間に差が開いてしまう。それでは、初期適応、つまり日本の学校に同化することはできるかもしれないが、それ以上のものは望むべくもない。日本では、外国人児童らが自らの思い描く将来の姿を実現するためには、学力そして学歴を身につけることが必要になる。外国人児童らの将来を狭めないためにも、日本人児童との学習時間格差が生まれにくいことが重要なのである。これから挙げる群馬県太田市の取組みにこそ、外国人児童の将来を切り開く鍵があるのである。

2004年、群馬県太田市は「定住化に向けた外国人児童・生徒の教育特区」に指定された。この特区について、池上摩希子と、末永サンドラ輝美は次のように述べている。

³¹ 浜松市 (2012)「浜松市教育総合計画 (平成19年度～22年度)『はままつ 人づくり宣言』検証報告書」
(<http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/shikyoi/1sosiki/somu/sougoukeikaku/H19-H22kensyuhoukoku.pdf>) 2012年8月14日閲覧)

³² 浜松市 (2012)「多文化共生をめぐる状況の整理」
<http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/admin/policy/kokusai/pdf/20120803shiryo2-3.pdf> 2012年8月14日閲覧

³³ 浜松市教育委員会 学校教育部指導課企画部国際課 前掲ページ

「定住化に向けた外国人児童・生徒の教育特区」は太田市が外国人集住都市であること、定住外国人の労働力に大きく依存していること、そして、その定住外国人の子どもたちに対する従来の教育制度が子どもたちの現状に対応できていないこと、を地域の特性としてあげ、特定事業を提案している。つまり、定住外国人とその子どもたちが将来に希望と見通しをもって生活できるように、外国人児童生徒に対する教育システムを構築していくことがこの特区の目的である。³⁴

太田市は、自動車製造関連企業や金型製造企業などが多くある工業都市であり、多くの外国人が暮らしている。公立の小中学校・特別支援学級には、およそ 500 名の外国人児童³⁵が在籍している。この現状に対応するため、同市は特区に指定された。外国人児童らが自らの将来を選択できるようにすることを目的とし、様々な事業を実施している。

太田市は、外国人児童らが自らの将来を選択できる教育のための基盤を整えた。特区の事業として、「ブロック別集中校システム」を採用したのである。市内を 8 ブロックに分け、外国人児童の在籍者数が多い学校を集中校と定め、国際教室³⁶を設置している。ブロック内の集中校でない学校の児童は、集中校に転校することも可能である。各校に数人しか外国人児童が在籍していない場合には、「入り込み指導」や、「取り出し指導」を行わざるを得ない。

だが、国際教室に外国人児童を集めることで、日本人児童と同じカリキュラムを、彼らにあったアレンジをしつつ、指導することが可能になる。この教室は、後述するバイリンガル教員が国際教室担当教員と共に担任するため、日本人児童と同じ必修科目を授業時間内に無理なく指導できる。外国人児童を 1 校に集中させることで効率の良い指導を可能にしているのだ。「取り出し指導」のように、必修科目の授業を削ることはないため、日本人児童との学力格差が生まれることもない。このシステムを採用することで、将来を切り開く教育を行う基盤を作り出しているのである。

その基盤の下での外国人教育をよりよいものにするために、太田市は「バイリンガル教員」³⁷を採用した。市内の外国人児童の中で、最も多い割合を占めるのが、ブラジル国籍の児童である。同市はその教育のために、日本語とポルトガル語のバイリンガル教員を集中校の国際教室へ派遣している。このバイリンガル教員の採用は国内外を問わず行われ、日本もしくは外国での教員免許があれば教員になることが可能である。国内に固執しないことで、指導経験のある優秀な人材が確保できるのである。浜松市の「バイリンガル支援員」との違いは、日本人教員のサポートや、通訳の業務だけでなく、彼らが直接指導に当たれることにある。このバイリンガル教員らは、通訳を介さずに子供たちと意思疎通ができるため、児童への教科指導を容易にし、外国人児童らの学力向上、メンタルケアという役目も担うことができる。各校で、バイリンガル教員と、日本語指導助手がチームを組み、外国人児童生徒の日本語、

³⁴池上摩希子・末永サンドラ輝美（2009）「群馬県太田市における外国人児童生徒に対する日本語教育の現状と課題-「バイリンガル教員」の役割と母語による支援を考える-」早稲田大学大学院日本語教育研究科『早稲田日本語教育学「特集 多文化社会における日本語教育実践のあり方を問う」』 p. 18

³⁵群馬県太田市 City of Ota's Official Web Site「各種スクール」

<http://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0020-003kikaku-english/school.html> 2012年6月24日閲覧

³⁶国際教室担当教員 14 名、バイリンガル教員 7 名、日本語指導助手 12 名が連携を取り合って指導を行っている。

³⁷教員経験年数 3 年以上の人で、日本語検定 1 級あるいは同等の語学力を有する人も条件である。日本語・英語・ポルトガル語・スペイン語など 3~4 ヶ国語を話せる教員もいる。

教科学習の習熟度に応じた独自カリキュラムを作成³⁸し、日本語指導のレベルを児童一人一人に合わせている。学年、年齢等にこだわらない日本語の習熟度に応じた段階的教育³⁹を行うことで、効果をあげることができるのである⁴⁰。

だが、やはり様々な教育制度⁴¹もあくまで外国人児童らが日本の学校に適応するまでの対策にすぎない。それだけでは児童の進路拡大に本当につながるとは言えないのだ。彼らが適応した後、義務教育終了後のことを見据えた対策も必要なのである。実は太田市の外国人児童教育は、単に彼らを同化させるためのものだけでは終わらない。義務教育修了後に、外国人児童らが将来に希望と見通しを持てるよう⁴²にするという目的を実現するために、外国人児童への支援事業を行っているのだ。その目標を実現するために欠かせないのが、太田市独自の保護者に対する教育である。

本文の論旨からはちょっと外れてしまうような説明は、注の形で補足します(説明注)。

(2) 太田市の保護者に対する教育

太田市は、児童の適応した後、つまり義務教育修了後のことを考え、外国人児童だけでなく、その保護者に対しての教育も行っている。それが、太田市の実施している「アダルトスクール」である。「アダルトスクール」⁴³において、保護者は日本語だけではなく、日本の文化、慣習、社会保障、そして日本の学校教育について学ぶことができる。この「アダルトスクール」は、4月から始まる新学期の前、1月～3月の間に集中的に行われる。

この講座で保護者らは、日本の学校についての説明を受けたり、実際の学校の様子を映したビデオを見たりする。同市の担当者によると、参加者らの顔からは安心した様子がうかがえ、「参加してよかった」といって、帰路につく保護者もいたようだ。

保護者に日本の学校教育について知ってもらうことで、学校との意思疎通も図りやすく

³⁸群馬県太田市 前掲ページ

³⁹群馬県本部/太田市・企画部総合政策課 小林豊 「多文化共生と教育」について

(http://www.jichiro.gr.jp/jichiken/report/rep_gunma30/jichiken/4/04.htm 2012年6月24日閲覧)

⁴⁰ また、太田市は、未就学児のための事業を展開している。未就学の外国人児童を対象にしたもの「プレスクール」も行っている「プレスクール」では、「日本語での挨拶、ものの名前、簡単なコミュニケーション」について教えている。この「プレスクール」では、特に「これ」というものを教材として使わず、学校での生活についての日本の学校生活での常識も教える。例えば、授業の最初と最後に日直が号令をかけて挨拶をする、チャイムで時間のけじめをつけるなどである。そして、ひらがなの読み書き、箸を使う練習、絵本の読み聞かせ等を行う。この講座では、「日本の風土や風習を理解してもらい、日本語能力の向上を図る」ことを目的としている。この講座は前年度の12月から行われており、就学前の時間を利用することで、入学してからの教育を円滑に行うことを可能にしている。

⁴¹ 前述したものの他に、授業時間外の取り組みとしてサタデースクールも行っている。これは、公立の小・中学校に在籍する児童を対象にしたものである。外国人児童の学力向上を目的とし、「算数・数学、英語の予習復習」⁴¹の指導を受けることができる。これは、12月中旬から2月中旬の毎週土曜日に行われており、学年が上がる前に総ざらいをすることで、新学年での勉強へ児童がスムーズに移行することを可能にする。「はまっこ」や「まなぶん」と同じ、学力補充を目的としている。だが、この「サタデースクール」は学校の授業を使わず、課外授業の形で行われている。そうすることで、日本人児童との教科学習時間の差が開かず、より効率よく外国人児童の学力を上げることができるのである。

⁴² 池上・末永 前掲書 p.18

⁴³太田市は、2011年度には外国籍の新入学児童全家庭、約70家庭に事前に案内の送付を行い「アダルトスクール」への参加を促している。

アルファベットの略称は、全角の文字を使います。

なる。保護者らの日本語能力が向上すると、授業参観や、PTAなどに参加しやすくなり、担任とのコンタクトも取りやすくなる。これは児童のトラブルの際の対応が迅速にできる⁴⁴だけでなく、保護者と学校の連携が取れることで、児童の適応にも役立つ。児童の学校生活に、家庭が与える影響は大きい。

しかし、この「アダルトスクール」において最も重要なのが、日本の学校教育制度に関するレクチャーである。これによって、保護者の日本の教育制度への理解を深めることが可能になる。例えば、ブラジルの中高等教育（日本における高等学校に相当）の進学率は72%、高等教育（日本における大学に相当）進学率は18%⁴⁵で留まっている。日本では、大学進学率は2010年56.9%⁴⁶であり、半数以上が大学に進学する。だが、ブラジル人の保護者らは、義務教育だけで十分とし、大学はほとんどの人が行かないものという認識を持っている場合がある。保護者らが母国での固定観念に捉われたままでは、子どもが進学を望んでも実現しにくくなってしまう。そのような認識を変えていくのが「アダルトスクール」なのである。

子どもの日本語力や学力がいくら向上しても、保護者の理解が得られない場合にはそれが活かされにくい。日本の社会では、学力そして学歴が職業の選択肢に大きく影響しているのが現状だ。保護者らの進学に対する固定概念を変えることで、子どもたちの進路選択に理解を示してもらえるようになり、それは外国人児童らの将来の選択肢を増やすことにもつながる。この「アダルトスクール」は、子どもの日本語力と学力の向上を促進し、そして進路の選択肢拡大をもたらすのだ。子どもの適応後を見据えているという点で「アダルトスクール」は有効なのである。

教育特区として、事業を開始した結果、太田市内の中学を卒業した外国人児童の高校進学率は、2002年度の50%（16人中8人）から、2011年度には94%（48人中45人）まで増加した⁴⁷。始まる前に比べ、高校進学率が2倍近くにまで上昇し、日本全体の2012年度の高校進学率98%⁴⁸に近い数値までであったのだ。これは、太田市が行ってきた教育が非常に効果的だったということを表している。太田市の外国人児童の高校進学率の上昇は、児童に対する教育のみの成果ではない。保護者への教育も行ったことで、ここまで進学率を上昇させることができたのである。

⁴⁴文部科学省（2012）「地域での実践、人づくり よりよい学習環境をつくる」

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/003/001/014/004.htm#a06、2012年6月24日閲覧

⁴⁵国際交流基金（2012）「調査・研究ブラジル」<http://www.jpf.go.jp/j/about/survey/basic/brazil/1-1.html#4> 2012年6月29日閲覧

⁴⁶総務省統計局（2010）「進学率と就職率」<http://www.stat.go.jp/data/nihon/22.htm> 2012年9月4日閲覧

⁴⁷群馬県太田市 前掲ページ

⁴⁸総務省統計局（2010）「教育」<http://www.stat.go.jp/data/nihon/22.htm> 2012年6月24日閲覧

**V章は「探究マップ」の「答え」に該当します。
本論を踏まえて考察をまとめましょう。目安は1000字。**

V 浜松市と太田市の比較

浜松市の外国人児童の進学率が上昇したのは不就学児童への対策は効果的だったためだ。だが、同市の中学生全体の数値に及ばないのは、やはり「はまっこ」や「まなぶん」が、「取り出し指導」と「入り込み指導」のような日本人児童との必修科目学習時間に差が生まれてしまう指導を行っているためである。それに対し、太田市は、教育の基盤となる環境を整え、カリキュラム格差を生み出さない指導を行った。それらの政策により、太田市は外国人児童の高校進学率において、一定の成果を収めたのである。

だが、太田市と浜松市の最も大きな違いは、保護者への教育の有無にある。外国人児童の進学には、費用などの面から、保護者の理解が不可欠である。太田市は、保護者への教育で、日本語指導だけでなく、日本の学校制度に対する説明を行った。そうすることで、保護者らの母国での固定観念を変え、児童の進学に対する理解を得ることに成功した。94%まで外国人児童の高校進学率を上げることに成功したのは、カリキュラム格差を生み出さない学力支援と、保護者教育の結果である。

日本は、外国人児童の教育体制を確立し、その基盤を作っていかなければならない。その上で、児童らのカリキュラム格差を生み出さない支援を行い、全国区でその保護者らに対して、「アダルトスクール」のような日本語と、学校教育について学ぶ講座を開くべきである。そうすることで、児童らの学力向上と保護者らの進学に対する理解を得られる。それは外国人児童の高校進学率を高めることにつながり、進路を広げることができる。

外国人児童の進学率が上がっていくことで、次の世代への進学の理解が深まるだろう。そうすることで、外国人児童の進路は日本人と同じように広がっていくはずである。

(10781 文字 原稿用紙 27.0 枚相当)

**総文字数と 400 字原
稿用紙換算枚数。**

最後に参考文献リストをつけます。
並べ方は、著者名の五十音順→アルファベット順が基本。

【参考文献及び関連URL】

- ◆小内透（2003）『在日ブラジル人の教育と保育 群馬県太田・大泉地区を事例として』明石書店
- ◆太田晴雄（2000）『ニューカマーの子どもと日本の学校』国際書院
- ◆児島明（2006）『ニューカマーの子どもと学校文化』勁草書房
- ◆志水宏吉（2001）「学校文化とニューカマーの子どもたち」志水宏吉・清水睦美『ニューカマーと教育—学校文化とエスニシティの葛藤をめぐって』明石書店
- ◆水野かほる（2003）「浜松市における外国人児童生徒への日本語指導に関する調査報告」静岡大学『国際関係・比較文化研究』第1巻第2号
- ◆清水睦美（2006a）「ニューカマーの子どもの青年期—日本の学校と職場における困難さのいくつか—」国際教育学会『教育學研究第』73号第4号
- ◆清水睦美（2006b）『ニューカマーの子どもたち』勁草書房
- ◆静岡県ふじのくに統計センターしずおか（2011）「外国人登録者の発表」
<https://www2.pref.shizuoka.jp>
- ◆特定非営利法人NPO浜松ネットワークセンター（2011）「多文化共生事業」
<http://www.n-pocket.jp/inclusion/foreigners/education-projects/guidance>
- ◆浜松市（2012）「外国人との共生社会」実現検討会議 有識者ヒアリング②」
<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kyousei/dai3/siryou1.pdf>
- ◆浜松市教育委員会（2012）「浜松市行財政改革推進審議会資料 浜松市における外国人児童生徒の教育について」学校教育部指導課企画部国際課
http://www.h-gyokaku.jp/council_information/pdf/12/02.pdf
- ◆浜松市教育委員会事務局学校教育部指導課（2012a）「教育相談事業」
<http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/shikyo/1sosiki/shido/shidouka-jigyuu/shido-index.html>
- ◆浜松市教育委員会事務局学校教育部指導課（2012b）「通級型日本語教室 はまっこ」
<http://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/shikyo/1sosiki/shido/shidouka-jigyuu/kyoiku-sodan/gaikokujin/hamakko-matuttko.html>
- ◆藤波海（2010）「外国人児童生徒教育の現状、課題、展望——浜松市の事例を中心に」
http://www.soc.hit-u.ac.jp/~trans_soci/pdf/3.FujinamiKaiReport2010.pdf#search
- ◆文部科学省（2012）「日本語指導が必要な外国人児童生徒の受入れ状況等に関する調査の結果について」
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/23/08/_icsFiles/afieldfile/2011/12/12/1309275_1.pdf

書籍(本)→雑誌→URLの順でまとめると
見やすいね！



(3) 卒業生の論文見本【作品分析型】 Google ドキュメント

MS P 明朝、30 ポイント
改行幅 1.15 行
段落の前のスペース=なし
段落の後のスペース=なし
上からのすき間は 30 ポイント 3 行分
※厳密に同じにする必要はない

理想の水族館を目指して
～エンタテインメント性と教育の側面から～

MS P 明朝、20 ポイント
改行幅 1.15 行
段落の前のスペース=なし
段落の後のスペース=なし

MS P 明朝、20 ポイント
改行幅 1.15 行
段落の前のスペース=なし
段落の後のスペース=なし
上からのすき間は 20 ポイント 9 行分
※厳密に同じにする必要はない

2099年99月99日提出
3年0組99番 ○山 ×太

Ctrl+Enter で改ページ

「はじめに」はアブストラクト（論文要旨）です。論じようとしている話題を提示し、問題を提起します。後半部で、この論文での目的を明確にしましょう。「はじめに」全体で400字くらいの分量が目安です。

I はじめに(アブストラクト)

国内の水族館は、度々遊園地などのレジャー施設と併設されるなど、エンタテインメント性の高い施設とされることが多かった。しかし、2016年に日本動物園水族館協会が「JAZA10年ビジョン」(日本動物園水族館協会、2016)を発表し、水族館の目指す目標が定められた。そこでは、水族館は教育面と動物福祉の強化が求められている。そこで、その流れを踏まえた上で水族館のあるべき姿について考察する。

本論文では、まず水族館に対する欧米諸国を中心とした世界的な方針とそれに伴った国内の方針について述べ(II)、続いて沖縄県に2020年に新設されたDMMかりゆし水族館で行われている取り組みを、娯楽性と教育的な側面からそれぞれ取り上げ(III)、さらに沖縄県の美ら海水族館で行われている取り組みを娯楽性と教育的な側面からそれぞれ取り上げる(IV)。最後に、世界的な方針と2つの水族館の取り組みから、水族館はどうあるべきかを考察していく(V)。

章が改まるところ、節が改まるところは1行空ける

II 水族館の役割と世界的方針

日本動物園水族館協会(以下、JAZA)が、動物園・水族館を「いのちの博物館」であると位置づけて「JAZA10年ビジョン」(日本動物園水族館協会、2016)において「生き物への共感・感心、次世代育成」、「動物福祉、展示を通じた学習」、「飼育下繁殖、研究、保全」、「市民協働、個性化」の4つの方針を示した¹⁾。これは、世界的な水族館の教育化の流れに則ったものである。谷崎音は次のように述べている。

ブロック引用の前に自分の文章を終わらせる。

ブロック引用で全体を下げる時はインデントボタンで処理をする

現在、欧米諸国を中心として動物園・水族館には見世物的な娯楽性から脱却し、動物福祉や種の保全を重視した教育・研究機能を強化していくことが求められている。世界動物園水族館協会(WAZA)も各々の動物園や水族館も、それらを自身の存在意義・正当性として示そうとする傾向がみられる。²⁾

ブロック引用の前後は1行空ける

つまり、水族館はエンタテインメント性を強化した施設ではなく教育や種の保存の面を強調した施設であるべきなのである。そして、水族館の脱娯楽化は全世界共通の目標となっており、現代の水族館は教育や種の保存を目的とすることで存在意義を獲得できるものとなっているのである。

実際、世界的に大きな人気を博すモンテレーベイ水族館では様々な教育的取り組みが行われている。例えば潮干まり、砂丘海岸等、生き物の生息地を精密に再現した展示や、展示の理解を補助解説版、魚以外の植物や鳥類などの解説、水槽内のダイバーと水槽外のガイドの対話式の解説などの活動である。このことから、世界の水族館の教育面の強化が伺える³⁾。

しかし、現時点での日本ではイルカショーや「猿軍団」など、教育よりも見世物的な風潮がまだまだ残っているように思える。実際、日本のこれらの取り組みは度々世界から批判的的とされており、日本の動物愛護の意識の遅れが浮き彫りになってきている。

そこで、本論文では水族館のあるべき姿について、沖縄に2020年に新設された水族館であるDMMかりゆし水族館と日本の代表的な水族館である沖縄美ら海水族館の比較を基に考察していきたい。

III章は探究マップの「根拠(1)」に該当します。

III DMMかりゆし水族館の取り組み

(1)DMMかりゆし水族館 エンタテインメント性(娯楽性)の側面から見た取り組み

近年、Instagramの発展により消費者による自らの訪問先の決定が以前より簡略化されている。それにより水族館への訪問に際した事前探索のかたちも変化し、水族館には「インスタ映え」などSNSに適応した

¹⁾ 日本動物園水族館協会(2016)「JAZAについて」<https://www.jaza.or.jp/about-jaza/our-objectives> 2022年6月20日閲覧

²⁾ 谷崎音(2019)「水族館が表現する『海』」『地理化学』第74巻第2号所収、地理科学学会、p. 45

³⁾ 吉富友香(1999)「米国の水族館展示手法からみた水産環境教育」『環境システム研究』第27巻所収、公益社団法人土木学会、p. 753

本文は全てMS P明朝、10.5ポイント
改行幅1.15行
段落の前のスペース=なし
段落の後のスペース=なし

II章は探究マップの「問い」に該当します。「なぜこの問題が問題なのか？」がわかるように、背景を説明しましょう。「調べれば分かること」はこのII章に書きます。目安は1000字。

情報提供が求められている。鈴木謙介は「インスタ映え」するスポットへの訪問という消費行動について次のように述べている。

ブロック引用の後にくる本文は、1マス分下げるとする。

スマートフォン経由の情報探索が、高関与な消費者による特性的属性の探索ではなく、いま食べたい、この近くで休みたいといった、突発的であるがゆえに低関与な動機を有した消費者による、抽象的な属性の情報探索に適していることがわかる。⁴

ブロック引用の注はここに打つ

ここでは、スマートフォン経由の情報探索は、高関与な消費者よりも突発的であるがゆえに低関与な動機を有した消費者に適していると述べられている。高関与な消費者というのは、情報探索の対象に強い関心を抱いている消費者のことである。強い関心を抱いている状態では、その対象について様々な情報を入力し比較したり、特徴や魅力といった詳しい情報まで調査したりするだろう。一方、低関与な消費者というのは、ただその瞬間の欲望を満たすために生じた動機を有するがゆえに、情報探索の対象への関心が希薄な消費者のことである。関心が希薄な状態では、その対象についての情報探索に労力と時間を費やそうとしないだろう。そのためその情報探索の内容は、対象の特徴や魅力といった詳しい情報を捉えない抽象的なものになる。

つまり、水族館で「インスタ映え」を利用した集客を目的とするならば、細部に特徴や魅力などのこだわりを持たせた展示よりも、一目見て、ここに行きたいと思わせられるような「抽象的な属性」を持たせた展示の導入が優先されることになるのである。

DMMかりゆし水族館では、5枚のアクリルパネルによって構成される巨大バーチャル水槽を導入している。ここには水族館で展示することのできない生き物などが映像で映し出され、水族館で映像体験をするという斬新さで開館当初から目玉展示として使われてきた。

つまり、DMMかりゆし水族館では水族館では体験することの出来ない映像の大きさと、水族館の水槽に展示することの出来ない生き物をバーチャル・リアリティによって映し出すという斬新さによって、展示に「抽象的な属性」を与えることで、突発的であるがゆえに低関与な動機を有した消費者をより多く集客することに成功したのだ。

言葉の定義、説明の補足、引用書籍の提示、数字の根拠などを示す場合、注を打ちます。文末は句点の前に番号がきます。

(2)DMMかりゆし水族館 教育の側面から見た取り組み

水族館は見世物的な娯楽性から脱却し、動物福祉や種の保全を重視した教育・研究機能をいくことが世界的に求められている。

専門家の鈴木・西は、水族館の「あるべき解説」と「なくてはならない解説」として、1展示水族館の生活環境、2展示水族の分類・生態・生活史、3標本保存、4水族館の研究・内容と成果、5自然環境の保護、6漁業と環境の関わり、7資源の持続的利用、8地域への貢献、の8テーマを例示した上で、次のように述べた。

どんなに練られた巧みな文書表現も、どんなにハイブローな内容も、来館者に注目されず、読まれず、素通りされるのでは意味がない。特に楽しんで時間を過ごす要素の多い⁵水族館の解説は、長文であってはならない、難解であってはならない。⁷

⁴ 鈴木謙介(2019)『ソーシャルメディアとオーセンティシティの構築:「インスタ映え」の観光社会学的考察』特集論文「デジタルテクノロジーとツーリズムの関係性を探る」第7巻第1号所収、観光学評論、p.6

⁵ 鈴木克典・西原二郎(2010)『新版水族館学』東海大学出版会、p.356

⁶ 本文ママ

⁷ 鈴木克典・西原二郎(2010)『新版水族館学』東海大学出版会、p.364,365

脚注は全て
MS P 明朝、8ポイント
改行幅 1.15行
段落の前のスペース=なし
段落の後のスペース=なし

出典注記の他に、本文の論旨からはちょっと外れてしまうような説明も脚注欄を利用して補足します(説明注)。

つまり、水族館に「あるべき解説」と「なくてはならない解説」は多様に存在するが、それらを設置しても利用者に読んでもらえなければ意味が無いということである。そのため、来館者サービスの範囲を踏み越えた解説の過剰な押し付けにならないように留意し、子供から高齢者まで幅広い世代に読んでもらえるように解説の内容を分かりやすく工夫することが重要であるのだ。

また、鈴木・西は、視覚的な解説にしたのでは読まれなくても、バックヤードツアーなどを利用し上手く説明出来れば同じテーマの話でも意外に興味をもってもらえる⁶とも述べている。つまり、現在の水族館ではいかに水族館側が伝えたいことを来館者に好意的に受け取ってもらえるか、という点に力を入れるべきなのである。

略称などのアルファベットは全角を使い、英単語は半角英数字です

しかし、DMMかりゆし水族館では解説板が設けられておらず、専用のアプリをダウンロードし、各エリアに設置されているタッチポイントとBluetoothを接続しない限り解説をみることができない。その手順を踏むことができさえすれば、それぞれの展示に入っている生き物の生態的特徴(捕食対象や特性など)、学名、英名、分類、分布が書かれている。これは、鈴木・西の8テーマの「2展示水族の分類・生態・生活史」に当たる。

音声ガイドでは、利用するために別料金1100円を支払う必要がある。これでは、携帯を持たない利用客は追加料金を払わない限り解説を一切得ることができない。

加えて、かりゆし水族館にはバックヤードツアーや、サンゴの魅力や海の現状を知り「海洋環境保護」について理解を深めるイベントである「サンゴラボツアー」、飼育員体験ツアーなどの教育的取り組みが存在するが、それらのツアーも音声ガイドと同じく全て有料となっている。

つまり、教育機関として能動的に訪問者に動物福祉や種の保全を重視した教育を施すのではなく、それらを求める一部の人のみサービスを提供する形となってしまっているのだ。これでは、教育を受ける消費者が限定されてしまう。

これらの取り組みの他に、DMMかりゆし水族館は、力を入れているサンゴへの取り組みの詳細をホームページに掲載している。そこでは、サンゴの生態や飼育環境、サンゴ保護に向けての研究・取り組みの内容・成果、沖縄の海を守るための取り組みなどが掲載されている。これらは、鈴木・西の8テーマの「1展示水族館の生活環境」、「2展示水族の分類・生態・生活史」、「3標本保存」、「4水族館の研究・内容と成果」、「5自然環境の保護」、「8地域への貢献」にあたる。

以上のことより、DMMかりゆし水族館の解説には「あるべき解説」と「なくてはならない解説」の8テーマのうち6テーマが導入されていることが分かる。しかし、導入されている6テーマのうち5テーマはサンゴについてのみの情報と限定的なものとなっており、水族館全体に適用されているとは言えない。

つまり、DMMかりゆし水族館では、教育的な側面よりも、エンタテインメント性(娯楽性)の側面の方が重要視されていると言える。

IV章は探究マップの「根拠(2)」に該当します。
本論その②です。目安は2000字

IV 美ら海水族館の取り組み

(1) 沖縄美ら海水族館 エンタテインメント性(娯楽性)の側面から見た取り組み

では、沖縄美ら海水族館では教育的な側面とエンタテインメント性(娯楽性)の側面のどちらが重要視されているのだろうか。

Ⅲ章(1)でも述べた通り、水族館で「インスタ映え」するスポットとして集客を目指すならば、細部に特徴や魅力などのこだわりを持たせた展示よりも、一目見て、ここに行きたいと思わせられるような抽象的ではあるが大きな独自性を持たせた展示を導入するべきである。

沖縄美ら海水族館は、世界最大のサメであるジンベイザメと、世界最大のエイであるナンヨウマンタをはじめとした多種多様な魚を高さ8.2m、幅22.5m、厚さ60cmのアクリルパネル水槽⁷で楽しむことが出来る。

⁶ 同前p.357

⁷ 沖縄美ら海水族館「めんそーれ沖縄美ら海水族館へ」<https://chirumori-okinawa.jp/visit/> 2022年4月23日閲覧

数字は半角、年号は西暦に統一

この水槽は2008年10月にオープンしたドバイ水族館に記録を更新されるまでギネス公認の世界最大のアクリルパネルであった。つまり現在も世界2位、日本最大のアクリルパネルということになる。

沖縄美ら海水族館ではこの圧倒的な大きさを誇るアクリルパネル水槽、世界最大のサメであるジンベイザメ、世界最大のエイであるナンヨウマンタといった、他を寄せ付けない圧倒的なスケール感によって展示に「抽象的な属性」を与えることで、突発的であるがゆえに低関与な動機を有した消費者の集客に対応したのだ。しかし、沖縄美ら海水族館はそれらの消費者を集客して終わりにするのではなく、彼らに教育的役割を果たすことの出来る設備となっている。

(2) 沖縄美ら海水族館 教育の側面から見た取り組み

Ⅲ章(2)でも述べた通り、水族館には「あるべき解説」と「なくてはならない解説」があり、それらを分かりやすく工夫することで幅広い世代に読んでもらうことが大切である。そして、解説板のみならず、バックヤードツアーなどのイベントを利用し、いかに水族館側が伝えたいことを来館者に好意的に受け取ってもらえるか、という点に力を入れる必要がある。

沖縄美ら海水族館では、解説員や飼育員による水槽解説、各水槽での餌やり解説、音声ガイドの配布、美ら海シアター、わくわくアクアラボ、海のふしぎ発見シート、教育普及プログラムなどを無料で実施している。これらの取り組みによって水族館側が伝えたいことを来館者に好意的に受け取ってもらえる工夫を施している。

水槽解説、餌やり解説では、美ら海水族館の水槽内の環境についてや、その生き物の分類や生態、生活史などについての解説を行っている。これは、鈴木・西の8テーマの「1展示水族館の生活環境」、「2展示水族館の分類・生態・生活史」に当たる。

音声ガイドでは、そのエリアで暮らす生き物の生態や、水族館の業績、注目して見てほしいポイントなどを解説している。これは、「1展示水族館の生活環境」、「2展示水族館の分類・生態・生活史」、「4水族館の研究・内容と成果」に当たる。

美ら海シアターでは、沿岸から外洋まで、沖縄の海にすむさまざまな生き物たちの生態や、沖縄の人々と海との関わりを、20分ほどのハイビジョン映像で紹介している。これは「1展示水族館の生活環境」、「2展示水族館の分類・生態・生活史」、「6漁業と環境の関わり」、「8地域への貢献」に当たる。

わくわくアクアラボでは、生き物の専門家である飼育員が、標本やビデオ等を使って海の生き物について分かりやすく解説している。さまざまな分野を取り上げているため幅広く説明しており、レクチャー終了後には飼育員に質問をすることもできる。これは、「1展示水族館の生活環境」、「2展示水族館の分類・生態・生活史」、「3標本保存」に当たる。

教育普及プログラムでは、海洋生物に関する普及啓発活動の一環として、学校、医療機関、福祉施設及びこれらに関連する団体向けに7つのプログラムを提供している。それぞれ、インタビュー学習、バックヤード見学、講師派遣、生きもの観察プログラム、紙芝居読み聞かせ、職場体験、オンライン講座(有料)である。これは、「1展示水族館の生活環境」、「2展示水族館の分類・生態・生活史」、「3標本保存」に当たる。

これらの取り組みの他にも、沖縄美ら海水族館はホームページに水族館が実施した調査研究の内容や成果を掲載しており、自身の調査研究や環境保全のための取り組みを見える化している。これは、「5自然環境の保護」に当たる。

以上のことより、沖縄美ら海水族館の解説には「あるべき解説」と「なくてはならない解説」の8テーマのうち7テーマが導入されていることが分かる。

つまり、沖縄美ら海水族館では、教育的な側面とエンタテインメント性(娯楽性)の側面を両立することに成功していると言える。これにより、突発的であるがゆえに低関与な動機を有した消費者を集客し、その人々に対しても動物福祉や種の保全を重視した教育・研究機能としての役割を果たすことを可能としているのである。

形式段落の冒頭は1文字分下げる

V章は探究マップの「答え」に該当します。
本論を踏まえて考察をまとめましょう。
目安は1000字。

V DMMかりゆし水族館と沖縄美ら海水族館の比較

DMMかりゆし水族館は、バーチャル水槽などのエンタテインメント性による集客を目指すことに注力したばかりに、ガイドや解説版が無いなど、教育的な側面が疎かになっている。

一方沖縄美ら海水族館では、世界最大級の動物を一度に楽しめる水槽などのエンタテインメント性によって集客を可能としつつ、様々な教育プログラムによって利用者への教育にも強い力を入れている。

JAZAや世界の方針を踏まえて考えると、娯楽性の高いDMMかりゆし水族館よりも教育的な沖縄美ら海水族館の方が理想的な水族館といえる。さらに、鈴木・西が述べている通り、教育面のみを強化しても、その取り組みに興味を持ってもらえない限りその学びは意味を持たなくなってしまう。沖縄美ら海水族館は教育面のみではなく娯楽性を共存させ、敬遠されがちな教育面を促進させている。つまり、水族館とは沖縄美ら海水族館のように教育的な側面とエンタテインメント性の側面を両立させた施設であるべきなのだ。

そうすることで、エンタテインメント性を目的として訪れた低関与な消費者にも、教育的な側面を目的として訪れた高関与な消費者と同様に「生き物への共感・感心、次世代育成」、「動物福祉、展示を通じた学習」などを最終的に与えることが出来る。

しかし、DMMかりゆし水族館などの近年国内で新設されている水族館は、エンタテインメント性の側面を重要視するものが多く見られる。そのため、新たに教育的な側面を重視した水族館が建つことはほとんど無く、需要も確保できないのが現状である。この風潮は時代と逆流しており、日本の動物愛護が遅れていると苦言を呈される理由も垣間見える。

今こそ、水族館の姿の問い直しが求められるのではないだろうか。

(6696文字 原稿用紙16.7枚相当)

総文字数と400字詰原稿用紙換算枚数。

最後に参考文献リストをつけます。並べ方は、著者名の五十音順→アルファベット順が基本

書籍(本)→雑誌→URLの順でまとめると見やすい。

【参考文献および関連URL】

- 鈴木克美・西源二郎(2010)『新版水族館学』東海大学出版会
- 谷崎音(2019)「水族館が表現する「海」」『地理化学』第74巻第2号所収、地理科学学会
- 吉富友恭(1999)「米国の水族館展示手法からみた水域環境教育」『環境システム研究』第27巻所収、公益社団法人土木学会
- 鈴木謙介(2019)「ソーシャルメディアとオーセンティシティの構築：「インスタ映え」の観光社会学の考察」『特集論文 デジタルテクノロジーとツーリズムの関係性を問う』第7巻第1号所収、観光学評論
- 日本動物園水族館協会(2016)「JAZAについて」<https://www.jaza.jp/about-jaza/four-objectives/>
- 沖縄美ら海水族館「めんそーれ沖縄美ら海水族館へ」<https://churaumi.okinawa/sp/2/saisai/>

箇条書きのリストにしたい時には、「箇条書き」ボタンか、表示形式>箇条書きと番号付きリスト>箇条書き で設定。

(4) 紙媒体で発表された論文を web 上で閲覧した場合の出典表記の仕方

例 1

✕ 吉田多美子「外国人子女の教育問題」

<http://www.ndl.go.jp/jp/diet/publication/document/2008/20080111.pdf>

「ndl=NDL」というのは、「国立国会図書館」のこと。これを出典として脚注に書いても、「私は国会図書館のサイトで見ました」と表現しているに過ぎない。国会図書館のサイトで、**何の書籍(雑誌)に載っていた**吉田論文を閲覧したのか？

この吉田論文は、『人口減少社会の外国人問題：総合調査報告書』に収められていることが分かる

◎ 吉田多美子(2008)「外国人子女の教育問題」 国立国会図書館調査及び立法考査局『人口減少社会の外国人問題：総合調査報告書』 p.125

例 2

✕ 前田ひとみ「日本在住の日系ブラジル人に関する仮説の検証と解説」

<https://ci.nii.ac.jp/naid/11000>

論文検索サイト (CiNii (サイニイ)) が示されてしまっている。CiNii というのは、「どんな論文がなんという雑誌に掲載されたのか？」を調べるデータベースサービスのこと。

詳しい出版年や掲載ページなどは「機関リポジトリ」(この場合、目白大学のリポジトリ)にアクセスしないと分からない。
=CiNii 上には表記されていない

※リポジトリ=学術機関リポジトリ
…大学や研究機関が主体となり、研究や教育成果を電子的に蓄積・保存する取り組み

↑↑この前田論文↑↑は、『目白大学人文学研究』に収められていることが分かる

◎ 前田ひとみ(2015)「日本在住の日系ブラジル人に関する仮説の検証と解説 ―感情の変化に着目して―」『目白大学人文学研究』(11) p.153-166

(5) 図表の書き方

- ①図や表の前後は1行空ける
- ②それぞれに通し番号をつけ、他の図表と区別する
 - *表の場合は、上に「表1」「表2」
 - *図、写真、グラフの場合は、下に「図1」「図2」
- ③何を表している図表なのか、図表の上に簡潔に書く
- ④図表の下には、書籍からの引用の場合は書名を、インターネットからの引用の場合はURLを出典として明記する
- ⑤図表を示した場合、文章中でも該当の図表に必ず言及する
 - 例) 気温の上昇は表2に示すように、1998年から……
 - 例) 右心房は図2のように上部に……

…一般家庭における耐久消費財の普及率は、図1のようになっている。

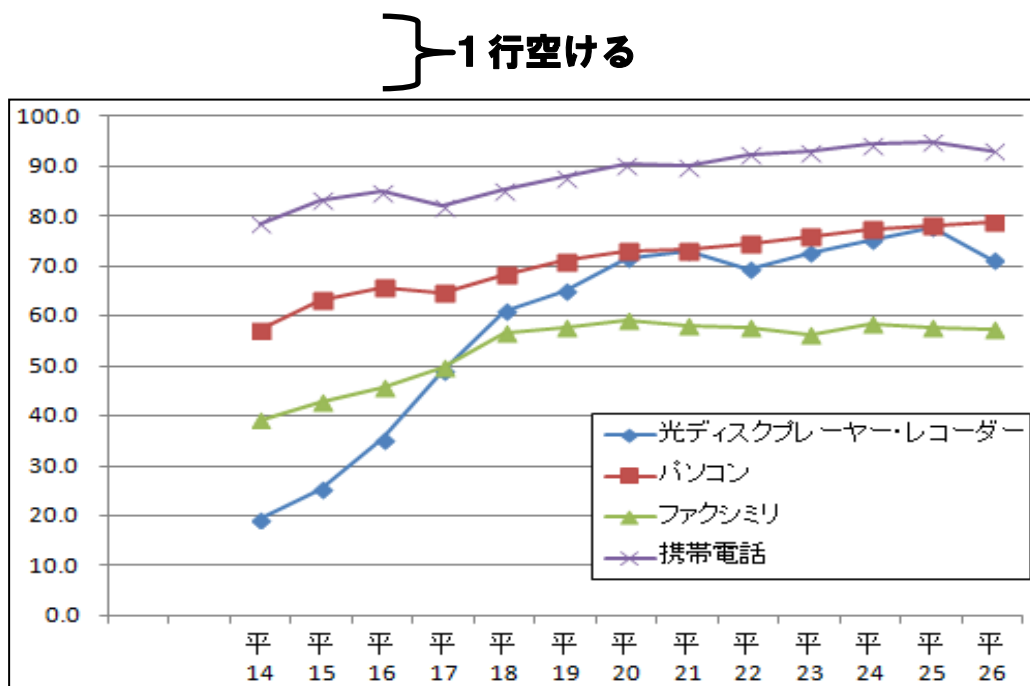


図1 主要耐久消費財の普及率（一般世帯）

出典) 内閣府経済社会総合所景気統計部 (2014) 『消費動向調査』

<http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/shouhi/shouhi.html#taikyuu>

} 1行空ける

図1を見ると、すでに携帯電話の普及率は飽和状態に達している。また、パソコンや光ディスクプレーヤー・レコーダーについても……

(6) 剽窃・孫引きの禁止

【剽窃（ひょうせつ）とは何か】

(1) 丸写し

友だちの書いた論文をすべて、あるいは一部写して、自分の書いたものとして提出する。あるいはネット上のサイトに公開されている文章を、すべてあるいは一部コピーして自分の書いたものとして提出する。

(2) 自己剽窃

自分の書いたものであっても、複数の授業に同じ論文を提出すると剽窃の一種と見なされる。

(3) 無断借用

最も重要な論点やアイデアを、参考文献あるいは引用文献として言及せずに他の論文から借用する。(戸田山和久『論文の教室』p.33-34)

【孫引きとは何か】

他の本に書かれていることや引用されている部分を、原典や原文を調べないでそのまま引用すること。(大辞林)

孫引き例)

2003年度のPISA調査によると、数学的リテラシーは第6位であった¹。

1 市川伸一(2002)『学力低下論争』ちくま新書、p.45

※市川氏が引用した数値を、原文を確認しないでそのまま引用している。

剽窃は、自分の文章を自分の名前で発表するとき、最も恥ずべき行為とされています。高校の課題や大学のレポートであっても、許されるものではありません。提出された論文が、上記の項目に該当した場合、論文に関する評価のすべてが0点になります。また、試験におけるカンニング行為に等しいため、それ相応の処分が検討される場合もあります。

孫引きは、原文→引用者→あなた、というふうに、参考文献に引用してあるものを鵜呑みにして再引用することを言います。

先行する研究者が努力を傾注して調べたり考えたりして到達した真理や知識は、基本的にすべての人のために共有されるべきものです。しかし、それを生み出した人には敬意が払われなければなりません。

高校生といえど、自分の署名入りで文章を書く以上、アカデミズム(学術的世界)の一員です。自分の書いた文章には、一言一句、責任を持ちましょう。

(7) 最終稿の提出について

注) 提出日前の添削を希望する場合は、10 月末までに担当教員に提出すること。11 月に入ってからでは預かりません。

注) 提出日前日や当日に欠席・遅刻するのは厳禁です。健康管理も能力のうち。不安な場合は事前に提出すること。

【提出方法】

- 1 部はホチキスで左上を止める (採点用)
- 1 部はホチキスで止めない (製本用)

このガイドを熟読し、書式・日本語などに誤りが
ないものを提出すること。誤りは減点対象です。

(8) 提出前のチェック項目

【構成・形式など】

- 表紙はついているか。自分の名前をきちんと書いているか。
- ページ番号はふってあるか（表紙を除く）。
- アブストラクト（Ⅰ）は本体と対応しているか。
- 問いの背景（Ⅱ）は本論や結論と対応しているか。
- 見出しや章立ての番号に重複や脱落がないか。
- 形式段落の始めは1文字下げであるか。
- 複数のフォントやサイズが混在していないか。
- 西暦（20●●）と元号（平成・令和など）が混在していないか。
- 書名は『 』（二重かぎかっこ）になっているか。
- ブロック引用部分は本文から1行空け、左端から2字分下げであるか。
- 引用の後に文献名と引用箇所を示してあるか。
- 図表の後に参照先を示してあるか。
- 脚注のフォントやサイズは統一してあるか（10pが基本）。
- 本文の最後に文字カウントは入っているか。
例) 6452字 原稿用紙16.1枚相当
- 最後のページに参考文献リストはついているか。
- 参考文献リストの書式は一貫しているか。
- 参考文献リストは著者の五十音順（アルファベット順）に並んでいるか。

【文章の校正】

- 誤字・脱字はないか。ワープロの変換ミスは残っていないか。
- 漢字とかなの使い分けの方針は一貫しているか。
- 文頭と文末の対応はとれているか（主述のねじれはないか）。
- 長すぎる一文は含まれていないか。
- 知識のない人が読んでも、わかりやすい表現になっているか。
- 孫引きはしていないか。
※「孫引き」とは、参考文献ですでに引用してあるものを、自分の論文にもう一度引用すること。

(9) 論文評価の観点②

評価項目1: 問いの適正

論文を書く上で適切な問いを設定し、基礎知識や問題の背景を理解した上で、それらの関連づけが論文の中で十分になされているか

達成度	詳細	評価
3	興味・関心と結びついた適切な問いが、基礎知識や問題の背景としっかりと関連づけられていて、論文の中で十分に示されている。	A
2	適切な問いが、基礎知識や問題の背景とある程度関連づけられ、論文の中に示されている。	B
1	適切な問いでなく、基礎知識や問題の背景との関連づけも不十分である。	C
0	レベル1に達していない。	D

評価項目2: 根拠の適正

複数の資料に基づく根拠を取り入れ、論理的で説得力のある論文が書かれているか

達成度	詳細	評価
3	適切で豊富な資料に基づく根拠を、十分な考察のもとに取り入れていて、結論に至るまで論理的で説得力のある論文になっている。多角的な視点や反論への視点も意識されている。	A
2	適切な資料に基づく根拠を、ある程度の考察のもとに取り入れていて、結論に至るまでに論理的な論文になっている。反論への視点も意識されている。	B
1	根拠が資料に基づいておらず、論理的でない。反論への視点もない。	C
0	レベル1に達していない。	D

評価項目3: 構成の適正 論文としての体裁が整っているか

達成度	詳細	評価
3	「表紙」「序論」「本論」「結論」「参考文献」の体裁が、指定どおりである。論理的な構成に応じた章立てや段落分けが適切になされている。	A
2	「表紙」「序論」「本論」「結論」「参考文献」の体裁が、ほぼ指定どおりである。内容に応じた章立てや段落分けがなされている。	B
1	「表紙」「序論」「本論」「結論」「参考文献」の体裁が、ある程度指定どおりである。内容に応じた章立てや段落分けがなされていない。	C
0	レベル1に達していない。	D

評価項目4: 言語表現と参考文献の活用

適切な表現を用いているか、引用や参考文献が適切に記述されているか

達成度	詳細	評価
3	文体が整っており、内容に合った効果的で正確な表現になっている。また、引用の仕方や参考文献の書き方も完全に適正である。	A
2	文体がほぼ整っており、内容に合った表現になっている。また、引用の仕方や参考文献の書き方が適正である。	B
1	文体がある程度整っている。また、引用の仕方や参考文献の書き方がほぼ適正である。	C
0	レベル1に達していない。	D

第5章 研究の成果を残す

(1) 『卒業論文要旨集成』原稿作成要項

以下の要領で、卒業論文の「要旨」（研究の目的・内容・結論など）を執筆しましょう。
自分の努力の成果がアピールできるよう、工夫してください。

執筆内容

- ① 題目（主題・副題）
- ② キーワード
- ③ 年組番 氏名
- ④ 要旨（600字以内）

※②キーワードは必ず3つ挙げる。百科事典や専門の辞典の見出しにあるような一般的な単語で。

ファイル形式およびページ設定

- ・ Google ドキュメントファイル
- ・ 一行40字×15行（600字）以内

※2 学期最後のPC教室授業にて〈データ〉を提出

(2) 要旨集成 原稿見本

「国語科教育」のメッセージ

～「ごんぎつね」はなぜ定番教材となったか～

【国語科教育、道徳、イデオロギー】

3年〇組〇番 〇〇 〇〇

現在全ての小学校4年生の国語教科書に掲載されている新美南吉の童話「ごんぎつね」が、初めて教科書に採用されてから50年以上が経過した。「ごんぎつね」が「定番教材」として支持を得続けているのはなぜであろうか。

「ごんぎつね」のストーリーの特性として重要視されるのは、ごんが兵十に「償い」を続けたにもかかわらず、「撃ち殺されてしまう」という悲劇的な結末である。本論文では、作品「ごんぎつね」の「悲劇性」についての分析を行い、その作品が教室という場においてはどのように扱われているかを考察した。教室では、人間と動物の間に結ばれる関係性が焦点化され、そこに生まれる「喜び」や「悲しみ」などの感傷的な解釈が行われている。それは「他者(自然)との共生」や「生命の尊重」といった「道徳的」なメッセージの導出である。「ごんぎつね」の巧みな心情描写や情景描写はそうしたメッセージを導きやすいといえるだろう。しかし、教室での「解釈」は、「ごんぎつね」という作品が本来持っていた「分かりあえないこと」の悲劇性や諦念からは遠いものではないだろうか。

つまり、「ごんぎつね」の定番教材化は、小学校国語科教育の道徳的な側面を大きく反映している。「道徳的なメッセージ」を含む解釈に縛られた「ごんぎつね」指導は、「豊かな人間性」を育む装置として機能し、それこそが「見えないイデオロギー教育」なのである。

4 0 字

ポイント！

- ①論文の大まかな内容が分かるように、
- ②問いから答えまでを、
- ③筋道立てて書くこと。
- ④自分の立てた目次に沿って、
- ⑤第1段落 問い
第2段落 根拠
第3段落 答え という形でまとめましょう。

FAQ 卒論あるある

テーマ設定・探究マップ

Q. 探究マップの真ん中の段の書き方がよくわかりません。

A. 探究マップの真ん中の段は、小さな「問い」や小さな「答え」が入ります。その際、必ず「主語&述語を含む文章の形」で書くこと。「〇〇について」とか「〇〇のメリット」「〇〇と××の比較」などと書かれても、意味がよくわかりません。

Q. 論文の「答え」は「〇〇の問題を解決するためには××を導入すべきだ」になっていればいいのですよね？

A. それだけでは不十分です。「こうすれば良いのに」と思うこと(What)が「どうすれば実現するのか」(How)まで、つきつめていきましょう。

Q. 自分のテーマについて、日本と外国の状況を比較すればいいのですよね？

A. いけません。フィンランドやデンマークを日本と比較して「終わり」では、論文にならないからです。税収を増やせば教育やら福祉やらが充実するのなんて当たり前のことです。日本も、社会全体の合意が得られればそうするでしょう。「そうっていない」背景を知らないまま「そうすべきだ」と論ずるのはナンセンスです。

文章表現

Q. 書き出しは「近年」とか「最近」で始めるべきですか？

A. やめましょう。「近年」「昨今」「最近」「現在」から書き起こされても、どのくらいの範囲を指しているのかさっぱり分かりません。できる限り違う書き出しを。

Q. 「私」って、使っちゃいけないのですか？

A. いけません。論文の文章には「私」も「思う」も出てきません。「客観的にこう言える(こういうものだ)」という立ち位置で書いて下さい。「私は～だと思う。」ならば、「(私が示した論証をたどると当然このように)～だと思われる。」と書くのです。

Q. 章や節の冒頭は、他の文献の引用で始めていいですか？

A. ありえません。まずは自分の言葉で、「なぜその文献を紹介するのか」「どういった点が参考になるのか」を述べましょう。また、引用後も、引用部分についての補足や言い換え、解釈などを自分の言葉で述べましょう。

Q. 「そして」って、使っちゃいけないのですか？

A. いけません。「そして」は論理的関係が曖昧な接続詞だからです。

Q. 「なので」って、使っちゃいけないのですか？

A. いけません。口語を避け、論文に相応しい言葉遣いで書きましょう。

★→「なので」は口語。文章にふさわしくない。

★→「住んでる」のように補助動詞「いる」の「い」が抜け落ちている。

Q. 『 』と「 」って、違うのですか？

A. 違います。二重鍵括弧『 』は、(1)書籍のタイトル (2)「 」内の「 」をあらわすときにのみ使用する記号です。それ以外では原則として使用しません。強調したいときや単語の括りを明確にしたいときなどは、傍点をほどこすか〈 〉などの記号を用いるようにしましょう。

Q. 節と節の間は、行空けしないでつなげて書いていいですか？

A. いけません。章と章の間だけでなく、節と節の間も1行空けてください。「節と節の間」とは、各章の(1)と(2)の間、ということです。

Q. 論文フォントをかわいくしてもいいですか？

A. いけません。「論文」や「レポート」に用いるフォントは、一般的に明朝体です。Googleドキュメントデータの場合も最終的には、明朝体に統一してもらいます。

Q. 正式名称が長いものは略して書いても良いですか？

A. 略称を使いたい場合は、初出の際に()で説明します。

例：中央大学杉並高等学校(以下、「中杉」と表記)は、1963(昭和38)年に創立された、全日制普通科の高等学校である。

Q. Wordやドキュメントを使っているときに出てくる、青の波線は何ですか？

A. 「表記ゆれ」の指摘です。たとえば本文中に「インフォームドコンセント」「インフォームド・コンセント」の2種類の表記表現(この場合、中黒の有無)があったりしませんか？他にも、口語や「の」の重複、ら抜き言葉などで波線がつかます。

Q. 表紙にページ番号が入らないようにできますか？

A. Microsoft Wordの場合

(その1)：挿入→ページ番号→ページ番号の書式設定→「開始番号」にチェックを入れて→数値「0」を指定→OK

(その2)：表紙のフッター部分(ページ数「0」が表示されているあたり)をダブルクリック→(本文の文字が灰色になりフッター編集画面になる)→「デザイン」のタブの中の「先頭ページのみ別指定」にチェックを入れ「ヘッダーとフッターを閉じる」

A. Googleドキュメントの場合

挿入→ページ番号→その他のオプション→「最初のページにも表示」のチェックを外す

引用・脚注

Q. 同じ引用先を、何度も脚注に書いてもいいですか？

A. 第2章(2)③を参照してください。

※ただし、「扱っている対象の歴史的経緯」も「扱っている対象が現在抱えている問題点」も「扱っている対象の今後の展望」も同じ本を参照するのは恥ずかしいことです。

Q. 具体的な事例や個人のエピソードも参考資料から再引用していいのですか？

A. いけません。専門家の「見解」を引用することはあっても、専門家が「紹介」している「事例」を引用することはできません。「〇〇氏のエピソード」「〇〇氏の談話」を紹介して良いのは、基本的にそのエピソードを実際に体験した本人のみです。

Q. 自分で引用先を要約した場合、どう書けばよいのですか。

A. 引用注なら、書誌情報を書くだけでよいのですが、もしも「〈ものごとの見方や捉え方〉や〈大まかな経緯〉などを参考にした」というのであれば、「～という考え方については、山田太郎『～』(～)を参考にした」「～の成立経緯については、山田太郎『～』(～)を参考にした」などのように脚注に明記しましょう。同様に、「この参考文献でうまいことまとめられているな」と感じて、自分の論文に取り込む場合には「山田太郎によると、この間の経緯は～」のように、本文で元ネタを明らかにします。

Q. 省庁のHPにあるものは、使っていいのですよね？

A. 基本的には大丈夫です。ただし、それがどのような資料なのか、ということは十分に注意して下さい。すでに決まったことが文書になっている場合もありますが、一方で、審議会のような場で発言された専門家や第三者などの個人的な見解が（情報公開の一環で）議事録として掲載されている場合もあるからです。

Q. 辞書って参考文献ですか？

A. 違います。注に『広辞苑』などの「国語辞典」を書くのは恥ずかしいことです。事辞典を注に書くことはあまり評価できませんが、必要なら、最低限〈扱っているテーマの専門事典〉や〈扱っているテーマの概説書・入門書〉などを参照しましょう。

Q. 注番号は文のどこに打てばいいのですか？

A. 注の番号を打つ場合は、句点の内側に入れるのが一般的です。

× △山△子によると、～は～と定義されている。*1

○ △山△子によると、～は～と定義されている*1。

句点の外に出してしまうと、それ以前の話題についての注なのか、それ以降の話題についての注なのか分からなくなってしまいます。（ブロック引用の場合は句点の外。）

Q. 注の付け方がわかりません。

A. Google ドキュメントの場合…挿入→脚注

Word2010（拡張子が docx）の場合……参考資料→脚注の挿入

Q. インターネットの資料を使う場合は、URLをすべて貼り付けるのですよね？

A. 何でもすべて貼り付ければよい、というわけではありません。特に、URLが何行にも渡るような表記の仕方はお勧めしません（下記参照）。もちろん、webサイトの参照は最低限にとどめるべき、というのが前提ですが、サイトに置かれているPDF等のファイルに直接リンクを貼るのではなく、その資料が置かれているページのトップなどのURLを表記しましょう。

×【ダメな例】総務省人口推計月報

[https://www.google.co.jp/webhp?sourceid=chrome-instant&ion=1&espv=2&ie=UTF-](https://www.google.co.jp/webhp?sourceid=chrome-instant&ion=1&espv=2&ie=UTF-8#q=%E7%B7%8F%E5%8B%99%E7%9C%81%E4%BA%BA%E5%8F%A3%E6%8E%A8%E8%A8%88%E6%9C%88%E5%A0%B1)

[8#q=%E7%B7%8F%E5%8B%99%E7%9C%81%E4%BA%BA%E5%8F%A3%E6%8E%A8%E8%A8%88%E6%9C%88%E5%A0%B1](https://www.google.co.jp/webhp?sourceid=chrome-instant&ion=1&espv=2&ie=UTF-8#q=%E7%B7%8F%E5%8B%99%E7%9C%81%E4%BA%BA%E5%8F%A3%E6%8E%A8%E8%A8%88%E6%9C%88%E5%A0%B1)

○【良い例】総務省人口推計月報 <http://www.stat.go.jp/data/jinsui/2.htm>

Q. CiNii で読んだ論文の出典元は CiNii でいいのですか？

A. いけません。稀に CiNii で調べると論文本文が読める場合がありますが、その場合の出典表記は「CiNii」ではありません。あくまで初出掲載誌の名前（や巻号など）を記すこと。第4章（4）参照。

Q. 参考文献リストにもページ数を書いた方が良いですか？

A. 不要です。

【このガイド作成のために使用した文献一覧】

- ◆栗津恭一郎（2016）『「良い質問」をする技術』ダイヤモンド社
- ◆石黒圭（2012）『この1冊できちんと書ける！論文・レポートの基本』日本実業出版社
- ◆岡田昭人（2014）『世界を変える思考力を養うーオックスフォードの教え方』朝日新聞出版
- ◆後藤芳文・伊藤史織・登本洋子（2014）『学びの技ー14歳からの探究・論文・プレゼンテーション』玉川大学出版部
- ◆佐藤郁哉（2002）『フィールドワークの技法ー問いを育てる、仮説をきたえるー』新曜社
- ◆佐渡島紗織・坂本麻裕子・大野真澄編著（2016）『レポート・論文をさらによくする「書き直し」ガイド』大修館書店
- ◆スティーヴン・トゥールミン／戸田山和久・福澤一吉訳（2011）『議論の技法ートゥールミンモデルの原点』東京図書
- ◆諏訪良武（2010）『いちばんシンプルな問題解決の方法』ダイヤモンド社
- ◆宅間紘一（2008）『三訂版 はじめての論文作成術ー問うことは生きること』日中出版
- ◆田中草大（2022）『＃卒論修論一口指南』文学通信
- ◆戸田山和久（2012）『新版 論文の教室ーレポートから論文まで』NHKブックス
- ◆長沢朋哉（2009）『世界ーシンプルな「戦略」の本』PHP研究所
- ◆浜田麻里・平尾得子・由井紀久子編著（1997）『大学生と留学生のための論文ワークブック』くろしお出版
- ◆ロバート・A・デイ、バーバラ・ガステル／美宅成樹訳（2010）『世界に通じる科学英語論文の書き方 執筆・投稿・査読・発表』丸善
- ◆渡辺パコ（2008）『3つのステップで考える はじめてのロジカルシンキング』かんき出版

おわりに

かつて卒業論文を書き終えた3年生が、こんな感想を残してくれました。

《世界はいろいろな問いに満ちあふれている——。》

世の中は私たちの想像以上に「分からないこと」で満ちあふれています。結果として研究は、先に進めば進むほど「これが正解だ」とはなかなか言えなくなります。「勉強」は進めば進むほど正解が分かってきますが「研究」はまったく逆なのです。

論文を書き終えた人ならばわかると思いますが、真剣に取り組めば取り組むほど「これが正解だ」と言うことには慎重にならざるをえません。世の中にある問題の多くは、白黒がはっきりとしたものばかりではなく、むしろ「ああも言えるし、こうも言える」ようなものばかりだからです。

また、文章を書くのは一文字ずつしかできませんから、執筆に没頭している間は「部分」しか見えません。「木を見て森を見ず」といいますが、非常に微細な「部分」だけを見つめて執筆を進めると、どうしても書こうとしている文章の「全体」が見えなくなるのです。自分の中で不分明なこと、実はすっかりと理解できていないことにぶつかると、筆は止まります。ここからどうすべきかわからないまま、時間だけが過ぎていくという経験を、論文執筆の途中で誰もが経験します。

そんなとき、どうすればよいのでしょうか。茫漠と広がる世界にも、何らかの指針は必要です。たとえば広い海を船で渡っていく航海においては、「羅針盤（コンパス）」が頼りになります。羅針盤があるからこそ、それが航海ルートを決めるための指針となり、そのうえで風を読み、潮の動きを読み、天候を読むことによってようやく船を進めることができます。すなわち「全体」が見えている状態で「部分」にこだわる必要があるのです。「考える」（＝全体像を描く）と「書く」（＝具体的な形に落とし込む）は別だということを、是非覚えておいて下さい。

さて、別の卒業生はこんな感想も残しています。

《論文を書き終えたあとの達成感は忘れないと思う。》

もちろん、書き上げた論文の内容自体は、みなさんにとって満足のいくものではなかったかもしれません。あるいは、時間があればもっと直したい、と感じているかもしれません。しかし、それでいいのです。研究や探究にわかりやすい「答え」や「ゴール」はないのですから。みなさんはこれから、多くの書物を読み、発表の場をこなし、いずれ、何らかの専門家（スペシャリスト）を目指していくはずです。その道筋を支えてくれるのは、幅広い教養と、飽くなき探究心です。みなさんが一生を費やしてもいいと思えるようなたった一つの「問い」を見つけるために、学び続ける姿勢をどうか大切にして下さい。

中央大学杉並高等学校 国語科一同

索引

引用.....	9	「 」と『 』の違い.....	60
同じ文献から複数回引用.....	10	「そして」の禁止.....	60
句点（。）の位置.....	37	「私」の禁止.....	60
事例再引用の禁止.....	61	引用中の改行.....	11
ブロック引用.....	9, 10, 37, 39	英語表記のルール.....	43
ブロック引用後の書き方.....	37	書き出し.....	60
ブロック引用前の書き方.....	37	強調.....	11
短い引用.....	9	参考文献リスト.....	45
要約引用.....	11, 61	謝辞の書き方.....	8
べ切&条件		数字は半角.....	37
最終稿.....	5	図表の書き方.....	53
執筆条件.....	5	西暦・元号の統一.....	37
初稿.....	5	段落冒頭の字下げ.....	39
論文要旨.....	5	チェック項目.....	56
情報収集		中略.....	11
インターネット.....	20	話し言葉の禁止.....	60
探究マップ.....	6, 16, 60	ページ番号.....	61
注		略称の書き方.....	61
出典.....	9	word の波線.....	61
出典情報の書き方.....	13	プレゼンテーション.....	32
説明注.....	38, 42	発表原稿.....	33
注の位置.....	38, 62	用語集	
注の打ち方.....	62	アブストラクト.....	6, 37
ブロック引用の注位置.....	39	奥付.....	18, 66
URL の示し方.....	62	PDCA サイクル.....	24
表記		剽窃.....	9, 54
		孫引き.....	35, 54, 56

高校生のための卒業論文ガイド

2012年4月1日 vol.1.0 発行

2023年4月1日 vol.12.0 発行

編集・発行：中央大学杉並高等学校 国語科

〒167-0035 東京都杉並区今川 2-7-1

電話 03-3390-3175

<http://www.chusugi.jp>

Copyright©Chuo-Univ.Suginami High-School All Rights Reserved.